

Guide Book to

Foreign Language Study

外国語学習ガイドブック 2024

「ことば」は壁じゃない、扉だ。



Discover the World



同志社大学の「国際主義」

高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身につけること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の7ヶ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。「ことば」の学習をきっかけとした様々な言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。



同志社大学外国語学習の 3つの特徴



1

語学レベルに
合わせた習熟度別
クラス編成を構築

外国語の授業を
受講するにあたっての心構え

「外国語の授業とは、
教師と学習者との共同作業である」

(Allwright, 1992)

外国語の授業とは、
教師、学習者それぞれの役割を認識し、
教師と学習者で共に作り上げていくものとなります。
学生の皆さんは、学習者がなすべきことを認識し、
授業に臨んでください。

2

学習意欲に
応じて受講可能な
学習プログラム



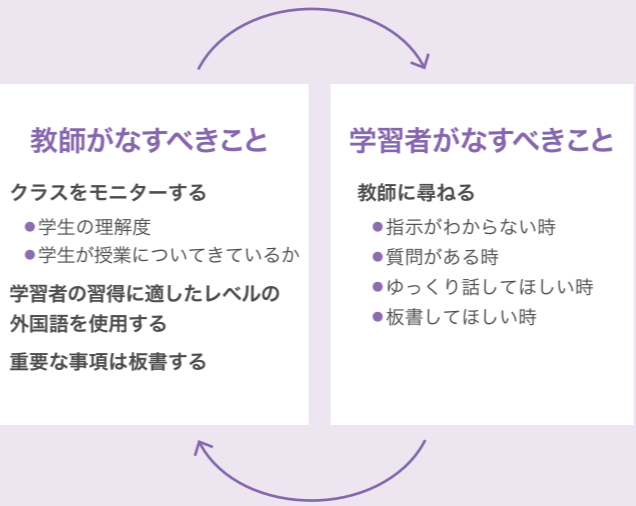
3

外国語学習への
多様なサポート



Contents

- 1 04 英語科目
 - 05 習熟度別クラス編成について
 - 06 科目概要
 - 07 1年次科目 登録方法
 - 09 同志社英語集中プログラムについて
- 2 10 初修外国語科目
 - (ドイツ語・フランス語・中国語・
スペイン語・ロシア語・韓国語)
 - 11 履修の流れ
 - 12 各外国語紹介
 - 18 1年次科目 登録方法
- 3 22 海外留学プログラム
 - 23 プログラム一覧
 - 24 プログラム報告・体験記
 - 39 プログラム統計(出願者・合格者)
- 4 40 外国語関連科目
- 5 43 外国語能力評価
- 6 44 多様なシステム・サポート体制
 - 44 "Go Global" ポートフォリオ
 - 46 e-Learning
 - 47 図書館の活用
 - 48 電子書籍の活用
 - 49 良心館ラーニング・コモンズ
「Global Village」の活用
 - 49 留学コーディネーター・
留学アシスタント
 - 49 国際交流ラウンジ
 - 50 検定試験・対策講座
 - 51 留学に関する奨学金
 - 51 語学カウンセリング
- 7 52 制度紹介
 - 52 外国語honors(オナーズ)制度
 - 53 Doshisha "Go Global" Passport
 - 54 グローバル・リベラルアーツ副専攻



※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP, TOEFL Essentials及び
TOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の
登録商標です。
※本冊子で使用している写真は新型コロナウイルス感染症拡大前
に撮影したものが含まれています。

1 English 英語科目

世界には約6,000の言語があるとも言われていますが、その中において、英語のlingua franca(共通語)としての地位、特に国際的なコミュニケーション・ツールとしての地位は、ゆるぎないものになっています。大学の4年間では、これまでに身につけた英語力をさらに補強しつつ、社会で期待される実践的な英語力の涵養を目指します。それと並行して、英語学習を通して様々な社会・文化・歴史などに触れることによって、社会人として必要な知識・教養を身につけてください。

同志社大学の英語カリキュラムは、全科目において習熟度別のクラス編成を実施している基幹科目、意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、そして海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。また、英語力の基盤づくりができれば、「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」(→40ページ参照)にステップアップし、将来を見据えてさらに英語力を伸ばしていきましょう。



英語科目学習プログラムの特徴

POINT 1

1・2年次で履修する科目は、英語で専門領域を学ぶための基盤づくりを行う体系的な構成となっています。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的としています。

POINT 2

入学前に受験したプレACEMENTテストの結果により4つのレベルに分けます。さらに、レベルごとに到達目標を設定した科目を設置しており、レベルに応じた科目を履修します。それにより、習熟度に応じたきめ細かな指導を行い、英語の運用能力や学修目標の多様化に対応しています。

POINT 3

意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目、海外留学プログラムも提供する深みと幅のあるカリキュラムとなっています。

習熟度別クラス編成について

同志社大学では1・2年次生で履修する基幹科目において、習熟度別クラス編成を実施しています。入学前のプレACEMENTテスト(本学ではCASECを採用)の結果に基づき、4つのレベルに分けます。

習熟度別に授業を行う目的

英語の運用能力や学修目標の多様化に対応し、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことを目的としています。

レベル分けについて

プレACEMENTテストの結果に基づき、英語能力の高い順から **High Intermediate** **Intermediate** **Pre-Intermediate** **Basic** の4つのレベルに分けたクラス編成を行います。

履修する科目について

同じ到達目標の同じ科目を全員が履修する仕組みではなく、個々のレベルに応じた到達目標を設定した科目を履修する仕組みになっています。各レベルの到達目標、および履修する科目は次項以降を参照してください。

履修の流れ

標準的な年次配当

	1 年次		2 年次		3・4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基幹科目 (※1)	Intensive Advanced English 1・2(各週2回・3単位)		General Academic English(LS) - Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Intermediate(週1回・1単位)			
	Core English(LS) - Intermediate 1・2(各週2回・2単位) ^(※2) Core English(RW) - Intermediate 1・2(各週1回・1単位)		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Pre-Intermediate(週1回・1単位)			
	Core English(LS) - Pre-Intermediate 1・2(各週2回・2単位) ^(※2) Core English(RW) - Pre-Intermediate 1・2(各週1回・1単位)		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate(週1回・1単位) General Academic English(RW) - Pre-Intermediate(週1回・1単位)			
	Basic English(LS) 1・2(各週2回・2単位) ^(※2) Basic English(RW) 1・2(各週1回・1単位)					
上級科目			English for Professional Purposes 1・2(各週1回・1単位) ^(※3)			
			English for Academic Purposes 1・2(各週1回・2単位) ^(※4)			
留学準備科目					English for Academic Purposes 3 (週1回・2単位) ^(※4)	
			Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1・2(各週2回・2単位) ^(※3)			
海外留学プログラム			Study Abroad Preparation(IELTS) 1・2(各週2回・2単位) ^(※3)			
			サマープログラム			
			スプリングプログラム			
派遣留学					セメスタープログラム	
					外国協定大学派遣留学	

(※1) 習熟度のレベルによって履修する科目が異なります。各レベルの到達目標、及び履修する科目は次項以降を参照してください。
(※2) 週2回の授業となりますが、対面授業1回、e-Learningによるオンライン授業1回のハイブリッド型の授業となります。利用するe-Learningは46ページを確認してください。
(※3) 登録資格(CASECのスコア)がありますが、選考試験はありません。
(※4) 登録資格(外部テストのスコア)があり、選考試験が行われます。

到達目標

レベル毎にヨーロッパ言語参照枠(CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)に準じて設定した到達目標は以下の通りです。

レベル	到達目標(CEFR)
High Intermediate	B2
Intermediate	B1~B2
Pre-Intermediate	A2~B1
Basic	A2

※レベルは入学前に受験したプレACEMENTテストの結果で振り分けられますが、途中でレベルアップすることも可能です。学期の開始前の科目登録期間にCASECを受験する機会を設定しますので受験を希望する場合は、申込を行った上でCASECを受験してください。スコアに応じたレベルアップが可能です。CASEC受験の申込方法は、本学ホームページで公開する科目登録日程を確認してください。春学期は1月中旬、秋学期は7月中旬に科目登録日程が公開されます。

1・2年次履修科目

レベル毎に1・2年次で履修する科目は以下の通りです。

レベル	1年次		2年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
High Intermediate	Intensive Advanced English 1・2		English for Professional Purposes 1・2(※1)	
Intermediate	Core English(LS) - Intermediate 1・2 Core English(RW) - Intermediate 1・2		General Academic English(LS) - Intermediate General Academic English(RW) - Intermediate	
Pre-Intermediate	Core English(LS) - Pre-Intermediate 1・2 Core English(RW) - Pre-Intermediate 1・2		General Academic English(LS) - Pre-Intermediate General Academic English(RW) - Pre-Intermediate	
Basic	Basic English(LS) 1・2 Basic English(RW) 1・2		(※2)	

(※1) 「レベル: High Intermediate」は、2年次に上級科目の「English for Professional Purposes 1・2」を履修します。
(※2) 「レベル: Basic」は、2年次に「レベル: Pre-Intermediate」の1年次科目から希望の科目を選択して履修します。

科目概要

基幹科目

Intensive Advanced English1・2

高度な批判的思考力を伴う、英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者の育成を目的とした科目で、学生個々の興味・関心をもとに個人またはグループでリサーチに取り組み、その成果を発表する機会を含んだ実践・発信型の授業を行います。

Core English (LS)- Intermediate1・2, Core English (RW)- Intermediate1・2

Core English (LS)- Pre-Intermediate1・2, Core English (RW)- Pre-Intermediate1・2

将来を見越した英語学習の基盤づくり(キーコンピテンシー能力の構築)を目指し、英語学習の楽しさや達成感といった学びの質を優先させつつ、批判的思考力を伴うコミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目です。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

Basic English (LS)1・2, Basic English (RW)1・2

英語学習の楽しさや達成感を再確認しつつ、基礎的な英語コミュニケーション能力、文章読解力・文章記述力の養成を目的とした科目であり、LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスした授業を行います。

General Academic English (LS)- Intermediate, General Academic English (RW)- Intermediate

General Academic English (LS)- Pre-Intermediate, General Academic English (RW)- Pre-Intermediate

分野(文系、理系)に横断して共通に求められる英語力と、専門領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした科目となります。LSはリスニングとスピーキング、RWはリーディングとライティングにフォーカスし、Intermediate、Pre-Intermediateのレベルに合わせた授業を行います。

上級科目

English for Professional Purposes 1・2

高度な批判的思考力を伴う、国内外を問わず英語を職業として使う領域で求められる英語コミュニケーション能力・文章読解力・文章記述力を兼ね備えた学習者・職業人・企業家の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。登録資格(CASEC 629点以上)を満たしていれば履修可能です。

English for Academic Purposes 1・2・3

高度な批判的思考力を伴うアカデミックな領域で求められる英語コミュニケーション能力(アカデミック・プレゼンテーションやディスカッション)・文章読解力(論文)・文章記述力(論文)を兼ね備えた「自律し、成長し続ける学習者・研究者」の育成を目的とした科目となり、リーディング、ライティング、プレゼンテーションにフォーカスした授業を行います。英語のコミュニケーション能力の向上はもちろんのこと、論文の記述力、読解力に重点を置いた科目となっています。以下の登録資格を満たし選考試験に合格すれば履修可能です。

科目名	配当年次	TOEFL ITP® テスト	TOEFLIBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト	TOEFL® Essentials™ テスト	TOEIC® L&Rテスト TOEIC® L&R IPテスト TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)	IELTS™	CASEC
English for Academic Purposes 1	2～	480～	55～	6.5～	575～	5～	629～
English for Academic Purposes 2	2～	520～	68～	7.5～	650～	5.5～	680～
English for Academic Purposes 3	3～	565～	82～	8.5～	730～	6～	740～

留学準備科目

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2, Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

TOEFL® テストやIELTS™といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。登録資格(→8ページ参照)を満たしていれば履修可能です。

海外留学プログラム

サマープログラム、スプリングプログラム

夏期、春期休暇中に海外における短期集中の語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

セメスタープログラム

1セメスターにわたり、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めるとともに、現地での生活体験を通して、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした科目となります。

1年次科目 登録方法

この項では1年次で履修可能な全学共通教養教育科目(外国語教育科目)の英語科目の登録方法について紹介します。なお、学部により卒業単位・外国語単位への算入について取扱いが異なるため、詳細は各学部『履修要項』、『登録要領』で必ず確認してください。

基幹科目

Intensive Advanced English1・2

Core English(LS)- Intermediate1・2

Core English(RW)- Intermediate1・2

Core English(LS)- Pre-Intermediate1・2

Core English(RW)- Pre-Intermediate1・2

Basic English(LS)1・2

Basic English(RW)1・2

対象者:全学部 1年次～

登録方法:大学がプレイズメントテストの結果をもとに、一括登録する。(登録手続不要)

なお、入学前に実施したプレイズメントテストを受験できなかった場合は、以下の期間に、自宅等のパソコンでプレイズメントテストを受験する。受験方法(アクセスするURL、受験者ID等)は入学前と異なるため、入学後に案内される受験要領を必ず確認の上、受験すること。

受験期間:4月1日(月)13:00～4月3日(水)10:30(予定)

自宅等にパソコンがない場合は、本学の情報教室のパソコンを利用して受験することも可能だが、学生証、ユーザID通知書が必要となる。本学で利用可能な情報教室は以下のURLから確認すること。

ただし、状況に応じて開室する教室が変更となるため、当日の情報教室の利用状況等は以下のURLから確認すること。

https://it.doshisha.ac.jp/it/equipment/utility_time.html

<https://openpc.doshisha.ac.jp/clv/>

※受験期間は休講期間となる。休講期間の情報を確認すること。

留学準備科目

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2

Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2

対象者:全学部 1年次～

開講クラス(各クラス25名定員)

▶今出川校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	51	月3・水3	櫃本 一美
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	52	火1・木1	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	53	火2・木2	阿部 瞳
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	54	月2・火2	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	55	月3・火3	未森 恵子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	56	火1・木1	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	57	火5・土2	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	58	火2・金2	仁科 恭徳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	71	月3・水3	櫃本 一美
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	72	火1・木1	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	73	火2・木2	阿部 瞳
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	74	月2・火2	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	75	月3・火3	未森 恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	76	火1・木1	鈴木 朋子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	77	火5・土2	鈴木 朋子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	51	月4・金5	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	52	水4・金4	横殿 伴子
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	53	水5・金5	横殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	71	月1・金5	GEORGIOS GEORGIU
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	72	水4・金4	横殿 伴子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	73	水5・金5	横殿 伴子

同志社英語集中プログラムについて

目的

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)」を受講し、海外留学を実現できるよう、学問を深めていくために必要な英語力を習得することを目的としています。具体的には、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの習得を目指します。「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをおすすめします。



正課科目

- English for Professional Purposes1 1単位
- English for Professional Purposes2 1単位
- English for Academic Purposes 1 2単位
- English for Academic Purposes 2 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST)1 2単位
- Study Abroad Preparation (TOEFL TEST)2 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS)1 2単位
- Study Abroad Preparation (IELTS)2 2単位

課外講座

- TOEFL ITP®テスト対策講座 ほか
本プログラムでは、英語力とアカデミックスキルを向上させるために、効率的な学習方法をアドバイスし、集中的に英語を学習する機会を提供します。
2024年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。



学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	51	金3・土1	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	52	金4・土2	北岡 一弘
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	71	金3・土2	北岡 一弘
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	51	月5・金4	GEORGIOS GEORGIU
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	52	月4・水4	榎本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	71	月4・水4	榎本 一美
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	72	月2・金4	GEORGIOS GEORGIU

▶ 京田辺校地開講

学期	科目	クラス	曜講	担当者
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	1	火2・土1	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2	火3・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	3	月2・金4	本間 三恵子
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	4	火2・土1	小林 英雄
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	5	火3・土2	小林 英雄
春	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN
秋	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2	火2・金4	佐野 直子
春	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	1	火2・木5	CANDY
秋	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	1	火2・木5	LUCAS KEVIN

登録資格

科目名	CASEC
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 1	550点以上679点以下
Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 2	680点以上

▶ 登録を希望する場合は

4月4日(木)11:00までに登録を希望する開講校地のクラスについて、学修支援システムDUETで希望申請を行う。
※登録資格を満たしていれば科目登録可能です。希望者が定員を超えた場合は抽選で登録者を決定します。
抽選後、定員を満たしていないクラスは追加募集を行います。詳細は各学部『登録要項』で確認してください。

海外留学プログラム

サマープログラムA・B・C

対象者:全学部 1年次~

登録方法:登録を希望する人は、募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会は、今出川校地は2024年4月11・12日、京田辺校地は4月10日に実施します。日時・場所については以下のURLに公開している募集案内を確認してください。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/summer.html ▶



スプリングプログラム 英語A・B・C

対象者:全学部 1年次~

登録方法:登録を希望する人は、2024年6月中旬に実施予定の2024年度募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年5月中旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/spring.html ▶



セメスタープログラム 英語I・II

対象者:全学部2年次~(選考時は1年次生)

登録方法:2024年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2024年12月上旬に実施予定の2025年度募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年11月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/semester.html ▶



ドイツ語 German



REGINE DIETH 准教授

Sie kennen bestimmt schon einige deutsche Wörter.

Im Japanischen gibt es viele deutsche Lehnwörter, wie z. B. Röntgen, Gelände, Arbeit, Gummi oder Baumkuchen. In der Meiji-Zeit wurden nämlich zahlreiche Begriffe aus Deutschland nach Japan eingeführt. Interessieren Sie sich dafür? Dann sollten wir zusammen Deutsch lernen!

こんにちは!

皆さんはドイツ語の単語をいくつか知っていますか？実は日本語にはレントゲン、ゲレンデ、アルバイト、グミ、パウムクーヘンなどドイツ語からの借用語がかなりあります。なぜなら、日本は明治時代に多くの概念をドイツから導入したからです。興味を持ちましたか？それではドイツ語と一緒に学んでみませんか？

ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族の中のゲルマン語系の言語です。現在、ドイツ、スイス、オーストリア、ルクセンブルク、ベルギーの公用語で、EU域内ではフランス語と並んでよく使われています。ドイツ語は、ヨーロッパの歴史・文化・社会・経済・政治について知るうえで、きわめて重要な言語です。

本学ではレギュラー・コースの他にインテンシヴ・コース、会話・表現に特化した授業に加え、ドイツ語圏の地域事情について講読する授業が開講されています。春や夏にはドイツで行われる海外研修プログラム

も用意されています。2019年度からは同志社大学テュービンゲンEUキャンパスでのセメスタープログラムも開設されました。また12月初旬には「ドイツ語検定試験A1/A2」という世界で通用するゲーテ・ドイツ語検定試験も本学で実施しています。

サッカー、音楽、ビールに尽きない日独間の文化・学術交流には長い歴史があります。私たちの日常生活に浸透している「ドイツ」を発見する旅と一緒にしてみませんか？

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ドイツ語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ドイツ語を「読み、書き、聞き、話す」ための技能を、無理なく自然に身につけるための授業です。入門Ⅰ(第1セメスター)では、ドイツ語の文字と発音、ドイツ語の骨格をなす動詞の変化と名詞・代名詞・冠詞類等の変化、現在時称などを学びながら、少しずつドイツ語で表現することを学習します。

ドイツ語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱ(第2セメスター)では、入門Ⅰに続き、さらに多様な文法事項を学びつつ、もう少し立ち上がった表現や場面に対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく検定試験「ドイツ語検定試験A1」に合格するレベルに達することを目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

ドイツ語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員による週3回の授業です。文法事項の進度は入門Ⅰ、Ⅱに準じていますが、週3回のクラスなので、口頭練習や聞き取り練習により大きな重点を置くことで、入門Ⅰ、Ⅱと差異化されます。ドイツ語の学習意欲がはっきりしている学生向けのクラスです。

ドイツ語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠと同様に、日本語ネイティブ教員とドイツ語ネイティブ教員とによる週3回の授業です。過去形や現在完了形を使った過去の出来事、命令形や依頼の表現等、様々な文法事項を学びながら、いっそう立ち上がった表現や場面にも対応できるドイツ語の学習に進みます。「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づく「ドイツ語検定試験A1」に良い成績で合格するレベルに到達することを目標とします。

フランス語 French



GHISLAIN MOUTON 助教

Regardons la carte du monde. Le Japon est un « archipel », Quelle est la forme de la France métropolitaine ? En français, on l'appelle « l'Hexagone ». N'oublions pas le fait qu'il existe des pays francophones dans le monde entier.

こんにちは!

世界地図を見ましょう。日本は「列島」です。フランスはどんな形ですか？フランス語でフランスは「六角形(Hexagone)」と呼ばれます。同じように、フランス語圏が世界中に存在するという事実についても考えてみましょう。

言語を学ぶのは、コミュニケーション・ツールを身につけるためだけでなく、自分たちとは異なる価値観や異なる人間の生き方を理解するためでもあります。これらは21世紀のグローバル化された世界で生きるために必要です。

フランスは歴史的に多くの優れた文学者や思想家・哲学者、科学者を生み出しました。フランス語を学ぶことは、皆さんに自分たちとは異なるものに触れ、様々なことを考えるきっかけをもたらしてくれるでしょう。

入門Ⅰ・ⅡやインテンシヴⅠ・Ⅱで初歩を学び、応用Ⅰ～4やインテンシ

ヴⅢ・Ⅳに進みましょう。コミュニケーション能力を磨くには会話クラス、さらに高度なフランス語を学ぶには上級講読やインテンシヴV・VI、インテンシヴVII・VIII、表現法、言語文化原典演習などがあります。最終的な到達レベルは、実用フランス語技能検定試験(仏検)2級～準1級もしくは「ヨーロッパ言語共通参照枠」に基づくフランス語学力資格試験DELFのB1～B2です。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

フランス語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

フランス語の表現の仕組みと発音の基本を理解し、名詞・形容詞の性・数や基本的なタイプの動詞の現在形を正しく用いて簡単なフランス語の文を組み立てたり、話したりできるようになることを目指します。到達目標は仏検5級程度です。

フランス語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

動詞の過去時制、いろいろな代名詞(直接・間接目的語代名詞、中性代名詞、関係代名詞、疑問代名詞など)、様々な構文を学習し、より複雑な文を理解できるようになることを目指します。到達目標は仏検4級程度です。

▶ インテンシヴ・コース

フランス語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

挨拶、人物紹介、買い物、道案内等の表現ができるようになることを目標に、系統的な語彙習得と文法(名詞・形容詞の性・数、重要な動詞の習得など、おおむね入門Ⅰの文法と同じ)の授業が組まれています。コミュニケーション能力を身につけることに重点を置きます。到達目標は仏検5級程度です。

フランス語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日常生活や仕事について表現できることを目標に、系統的な語彙習得と文法(「入門Ⅱ」の「文法」の範囲に対応する内容)の授業が組まれています。担当教員同士で連絡を取り合い、聞き取る、話す、読む、書く、総合的な力がつくような授業を行います。到達目標は仏検4級もしくはDELF A1です。

中国語 Chinese



汉语作为世界上使用人数最多的语言,也是联合国六种工作语言之一。近年来,随着中国经济的发展,世界各地都开始了学习汉语的“汉语热”。大家刚开始学习汉语的时候,会觉得汉语的发音很难,但是不用担心,只要努力练习就一定能够掌握。初级阶段的汉语语法,有很多和英语语法相似的地方,也有和日语相似的地方,还是不难学习的。学好汉语,了解不同的文化,开阔视野,结交更多的朋友。让我们一起加油吧!

皆さんこんにちは!
中国語は世界で最も話し手の多い言語であり、国連の6種の公用語の一つでもあります。近年は中国の経済的發展に伴い、世界各地で中国語の学習の「中国語熱」が高まっています。中国語を学び始めると、発音が難しいと思うのですが、心配はいりません。頑張って練習すれば必ずマスターできます。初級レベルの中国語の文法も、英語や日本語の文法と似ているところがたくさんあり、学習は難しくありません。中国語を学べば、異なる文化を理解し、視野を広げ、多くの友人をつくることのできるため、一緒に頑張って学んでいきましょう!

阿部 範之 教授

中国語(漢語=漢民族の言語)は世界で最も話し手の多い言語の一つと言われ、国連の公用語の一つでもあります。中国語の発音は日本語とも英語とも全く異なるという特徴があり、入門IやインテシヴIクラスで学ぶ初習者は、まず中国語発音のローマ字表記法・「拼音(ピンイン)」から学習を始めます。カタカナ発音では通用しないので覚悟してください。しかし書き言葉で漢字を用いるという特徴は、日本語話者にとっては有利な面です。ただ、中国では伝統的

な漢字の字体を簡略化した「簡体字」が用いられており、私たちが使っている漢字とは形が違うものもあるので、注意しましょう。学習経験がなくても、「我是学生。」(私は学生です。)と文章の意味が理解できるのは、世界でも日本語話者くらいでしょう。「加油!」(頑張れ!)

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

中国語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけることを目標とします。

中国語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学んだ内容を定着させながら、中国語の発音をより確実なものにすると同時に、基礎的表現と文法の習得を目標とします。

▶ インテシヴ・コース

中国語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

中国語の発音をピンインと呼ばれる発音表記法によって身につけます。その後、挨拶や自己紹介などの簡単な日常会話、さらに初歩的文法を身につけ、中国語コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標とします。

中国語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIや入門Iで中国語の発音や基礎的表現と文法を学んだ学生が、さらに語彙や文法を習得し、その後の学習の基礎となる力を身につけることを目標とします。

スペイン語 Spanish



Bienvenidos al mundo hispano. El español es la lengua de España y muchos países de Latinoamérica. ¿Conoces el Machu Picchu y la Sagrada Familia? ¿Los tacos y la paella? ¿La salsa y el flamenco? El español es la puerta de entrada a una cultura única. ¿Por qué no aprendes español? ¡Nos vemos en la clase!

こんにちは!
スペイン語の世界へようこそ。
スペイン語は、スペインやラテンアメリカの多くの国々の言語です。マチュ・ピチュやサグラダ・ファミリアを知っていますか? タコスやパエリアは? そして、サルサやフラメンコはどうでしょうか?
スペイン語は、ユニークな文化への扉です。そんなスペイン語を学んでみてはどうでしょうか?
では、授業でお会いしましょう!

PEREZ RIOBO ANDRES 助教

スペイン語は、スペインと中南米地域を中心として、現在20を超える国家と地域の公用語として4億人以上の人びとに用いられており、英語に匹敵する汎用性を備えていると言っても過言ではありません。今後、スペイン語の話者数や需要はますます伸びていくと予想されています。スペイン語は、日本人にとって発音面では相性がよく、すぐに馴染むことができます。入門IやインテシヴIではabcから学習が始めますが、努力次第でスペイン語がどんどん聴き取れるようになるはずですよ。

その反面、英語と比べると、文法が複雑で覚えるのが大変だと感じられるかもしれません。しかし、それはスペイン語が持つ魅力の一つでもあります。スペイン語を学習すれば、スペインだけでなく、中南米や米国のヒスパニック・コミュニティへと世界が広がります。新しい扉を開き、自分の世界を広げる第一歩として、ぜひスペイン語にチャレンジしてみてください。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

スペイン語入門I(週2回、2単位)【45名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)を身につけ、平易なスペイン語を理解し、挨拶、自己紹介などの簡単な表現ができるようになることを目標とします。

スペイン語入門II(週2回、2単位)【45名授業】

入門Iで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現を理解し、また自らも表現できるようになることを目標とします。

▶ インテシヴ・コース

スペイン語インテシヴI(週3回、3単位)【30名授業】

スペイン語のアルファベットと発音から学習を始め、動詞現在形の規則・不規則活用や基礎的な文法事項(名詞、形容詞、指示詞、所有詞、疑問詞、目的格人称代名詞等)の習得を目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

スペイン語インテシヴII(週3回、3単位)【30名授業】

インテシヴIで学習した内容を基礎とした上で、動詞の様々な時制の活用とその用法、再帰動詞、関係詞、比較、さらに命令等の文法事項を学習し、より幅広いスペイン語の表現が理解できるようになることを目標とします。日本人とネイティブの教員がペアを組み、発音、会話等、発信面の能力強化も重視します。

ロシア語 Russian



NECHAEVA ANGELINA 助教

Добрый день! Русский язык является одним из ключевых языков в мировой политике и культуре, а изучение русского языка – это дверь в Русский мир. Изучая язык, вы получите представление и понимание о многообразии Русской цивилизации, которая сформировалась в том числе и благодаря русскому языку. Знание основ русского языка станет вашим преимуществом. Изучайте русский язык с нами!

こんにちは！ロシア語は世界の政治や文化のなかの重要な言語の一つであり、ロシア語を学ぶことはロシアの世界への入口になります。ロシア語を学べば、それが形作るロシア的文明の多様性を理解できるようになるでしょう。ロシア語の基礎を身につけることはあなたの力となり、自信につながりますよ。私たちと一緒にロシア語を学びましょう！

ズドラーストヴィチェ(こんにちは)！ロシア語は難しいというイメージを持っていませんか？教科書や辞書、会話集をうまく使えば、短い期間でもある程度ロシア語を使えるようになりますよ。世界では約3億人がロシア語を話していますが、その半分は母語ではなく第二言語としてロシア語を話しているそうです。入門の授業ではまず文字の発音から始めて、少しずつ文法を学びます。ロシア語の響きを初めて聞くと、音楽のようだと感じるかもしれません。ドストエフスキーやトルストイといった有名な作家もロシア語で書きましたし、美しい音楽を作り出したチャイ

コフスキーやラフマニノフもロシア語で話しました。有名なフィギュアスケートの選手の中にもたくさんのロシア語話者がいますね。同志社大学には文学や絵画、音楽、歴史、政治、経済、言語学、スポーツなど、様々な関心を持つロシア語担当教員がいます。ぜひ私たちと一緒にロシア語に触れて、その多様な魅力を感じ取ってください。

ロシア語 Korean



朴 鍾厚 准教授

K-Culture의 K는 Korea! 도시사대학에서 코리아어를 배우 보지 않으실래요? 주로 한반도(대한민국과 조선민주주의인민공화국)에서 사용하는 언어를 도시사대학에서는 코리아어라고 부르고 있습니다. 오랜 세월 일본 열도와 교류하며 지내 온 한민족의 언어. 이제 K-Culture 확산과 함께 세계 곳곳에서 사용하고 있습니다. 코리아어를 통해 세계로!

こんにちは！K-Cultureの「K」は「Korea!」同志社大学でロシア語を学んでみませんか？主に朝鮮半島(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)で話されている言語を、同志社大学の初修外国語科目としては「ロシア語」と呼んでいます。長い間日本列島と交流して来た朝鮮民族の言語、今はK-Cultureの拡散と共に世界で使われています。ロシア語を通じて世界へ。

ロシア語は日本語母語話者にとって、とても学びやすい言語だと言われます。その理由の一つは文法が非常に似ているからです。例えば日本語とほぼ同じ語順や、助詞の使用には親しみやすさを感じるでしょう。もちろん難しさもあります。全く新しい文字を覚えなければならず、日本語でも英語でも使わない発音もあるため、学習者の努力が求められるのも事実です。それでも「入門Ⅰ・Ⅱ」まで終われば、とりあえず辞書を片手にロシア語のコラムや論文を読めるようになります。

また、習ったことを旅行先などで思い切って口に出してみれば、ロシア語でコミュニケーションできる自分に気づくはずですよ。さらに韓流好きの人なら、ドラマやK-POPの理解できる言葉がどんどん増えていくでしょう。私たちロシア語担当教員は、このように魅力あふれるロシア語に意欲的に挑戦する皆さんを待っています。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語で使われているキリル文字の習得、発音に始まり、動詞の3つの時制、名詞・代名詞の6つの格変化、形容詞・持ち主を表すことばの性・数変化等、ロシア語文法の基礎をひと通り学び終えます。半年の学習によって、ロシア語の文章の組み立てを理解し、簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅱでは入門Ⅰとは別の教科書を用い、軟変化や不規則な変化、動詞の命令形、数詞と名詞の結合、形容詞の短語尾・比較級・最上級等、入門Ⅰでは学ばなかった文法事項を学習するとともに、ロシア語を使って話す能力、ロシア語を聞きとる能力、ロシア語を読む能力の育成を目指します。ロシア語で簡単な会話ができるようになるだけでなく、単語帳を与えられれば簡単なロシア語の文章が読めるようになることを目標とします。

▶ インテンシヴ・コース

ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

ロシア語を集中的に勉強して身につけたいと希望する学生のための特別クラスです。日本人の教員は文字と発音の勉強から文法の基礎まで、教科書に沿って説明をし、ネイティブの教員はその進度に合わせて、発音練習を行ったり、話したり、聞いたりする訓練を行います。ロシア語の文章の組み立てが理解できるとともに、ロシア語で簡単な挨拶ができるようになることを目標とします。

ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

日本人の教員は、動詞の時制と体、関係代名詞、数詞の表現、比較級、最上級等ロシア語の文献を読むのに必要な文法事項をひと通り教え、ネイティブの教員はロシア語でのコミュニケーション能力の育成を図ります。ロシア語で簡単な会話ができるようになることと、辞書を引けば簡単なロシア語のテキストが読めるようになることを目標とします。

Pick up 1年次科目

※その他の科目については、シラバスを参照してください。

▶ レギュラー・コース

ロシア語入門Ⅰ(週2回、2単位)【45名授業】

ロシア語の文字(ハングル)と発音の学習から始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。学習終了後に簡単な日記が書けることを目標とします。

ロシア語入門Ⅱ(週2回、2単位)【45名授業】

入門Ⅰに引き続き、尊敬、連体形(現在/過去/未来)、否定形といった表現や変則活用などの初級レベルの文法事項を体系的に学習し、辞書を使って、簡単な文を作ったり訳したりできることを目標とします。また、文章語の基本となる한타체(日本語の「である」体または「だ」体に相当)を学習し、初級レベルを完成させます。

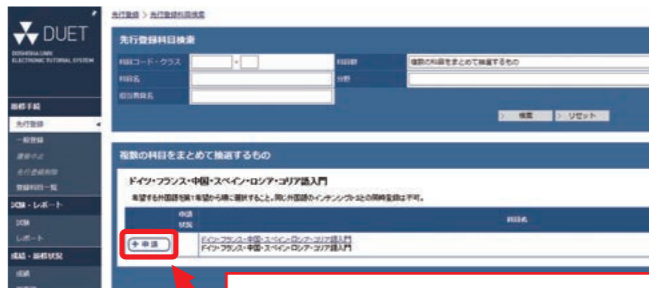
▶ インテンシヴ・コース

ロシア語インテンシヴⅠ(週3回、3単位)【30名授業】

インテンシヴⅠ・Ⅱを通じて初級レベルの文法事項・会話・作文を完成させます。文字と発音の練習から学習を始め、日本語の「です・ます」体に相当する丁寧な表現、名詞文、物の有無を表す表現、数の表し方、過去形等の文法事項を体系的に学習します。また、慣用的な言いまわしを用いた挨拶や自己紹介などができ、自分の知っている単語を用いて簡単な文章が書けることを目標とします。

ロシア語インテンシヴⅡ(週3回、3単位)【30名授業】

基本的な助詞をはじめ、聞き手に対する丁寧さを含まない表現、連体形の現在・過去・未来、尊敬表現、変則用言等や、可能・不可能・義務・可否等の基本的な慣用句を学び、初級レベルの文法事項を完成させます。また状況・場面に応じた適切な挨拶や紹介・対応、平易な句や文章の正しい音読、辞書を引ながらの内容理解、自分の知っている単語を用いた簡単な作文ができることを目標とします。

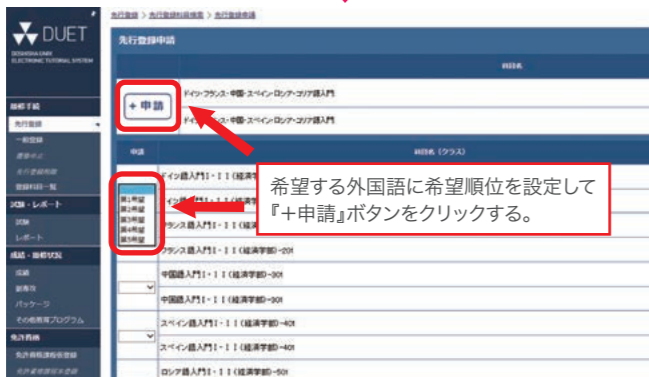


「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックする。

2 履修手続をする(つづき)

【「入門I・II」登録画面へ】

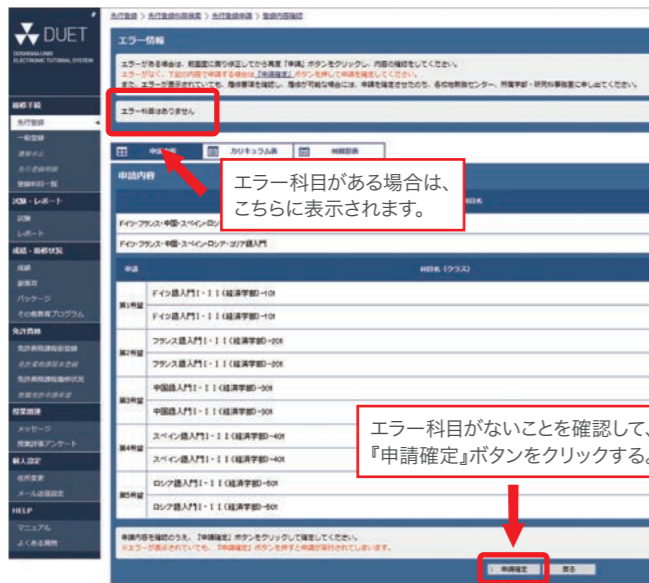
「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」の『+申請』ボタンをクリックしてください。



希望する外国語に希望順位を設定して『+申請』ボタンをクリックする。

【「入門I・II」登録希望申請へ】

- 登録希望順位を設定してください。
例えば、ドイツ語が第1希望、中国語が第2希望、コリア語が第3希望であれば、「ドイツ語入門I・II」の申請欄の下矢印ボタンを押して、「第1希望」を選択してください。同様の手順で、中国語は「第2希望」、コリア語は「第3希望」と設定してください。(申請は必ず第5希望まで申請してください。)
- 登録希望順位の設定を終えたら、画面の左上にある『+申請』ボタンをクリックしてください。



エラー科目がある場合は、こちらに表示されます。

エラー科目がないことを確認して、『申請確定』ボタンをクリックする。

【「入門I・II」登録エラー確認→申請確定】

- エラー科目がないことを確認してください。
- エラー科目がなければ、「申請確定」ボタンをクリックしてください。

重要!

・先行登録希望申請を完了した際には、DUETの「先行登録」の画面を再度開き、自分が行った希望申請が正しく反映されているか、必ず確認してください。
また、希望申請後、申請内容が大学より交付されたメールアドレス宛 (Microsoft 365) に E-mail で送付されますので、こちらも必ず確認してください。
ただし、E-mailは希望申請後すぐには届かないことがありますのでご注意ください。

・Microsoft 365は大学HP上部にある「訪問者別」にマウスポインタ(マウスカーソル)を合わせて「在校生の方」をクリックし、ページ下部の「コンテンツガイド」の「システム・情報教育環境」『Microsoft 365』のボタンをクリックしてログインしてください。また、大学より交付されたメールアドレスは、「ユーザID通知書」で確認できます。

コンテンツガイド

知りたい項目をクリックすると、関連するコンテンツの一覧が表示されます。

システム・情報教育環境	Webシングルサインオン	Microsoft365
授業・履修・試験	同志社大学ポータル	学修支援システムDUET
学びの深化	シラバスシステム	e-class
免許・資格		



4月4日(木)の結果発表時に『先行登録』をクリックして、決定した外国語とクラス番号を確認。

3 決定した外国語科目・クラスを確認する

- 『先行登録』をクリックしてください。
- これまでの申請科目とその抽選結果が確認できます。申請した科目の結果発表は、4月4日(木)0時になります。

サマープログラム ドイツ語B、フランス語、中国語B、スペイン語、ロシア語、コリア語

対象者: 全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要: 夏期休暇中に現地での集中的語学研修(3週間～4週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2024年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2024年12月上旬に実施予定の2025年度募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年11月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/summer.html



スプリングプログラム ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語B、コリア語

対象者: 全学部 1年次～

授業概要: 春期休暇中に現地での集中的語学研修(2週間～5週間)に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験を通して異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 登録を希望する人は、2024年6月中旬に実施予定の2024年度募集説明会に参加してください。2024年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年5月中旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/spring.html



セメスタープログラム ドイツ語I・II

対象者: 全学部2年次～(選考時は1年次生)

授業概要: 春学期の1セメスター(約4ヶ月間)、本学の海外キャンパスである同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで集中的に語学研修に参加し、高度な外国語運用能力を養成するとともに、現地での生活体験を通してその国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

登録方法: 2024年度の募集は終了しています。登録を希望する人は、2024年10月上旬に実施予定の2025年度募集説明会に参加してください。2025年度募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年9月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html



※「セメスタープログラム ドイツ語I・II」は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となる。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

3 Short-term Study-Abroad Programs

海外留学プログラム

サマープログラム、スプリングプログラム、セメスタープログラムは、本学の外国語教育の中に有機的に位置づけられているものです。自分の学んでいる言語を実生活の中で使い、その背景にある文化や社会に直接触れることはかけがえない体験です。たとえ短期間のプログラムであっても、その体験がこれからの語学力向上や国際人としての成長のきっかけとなる可能性はとて大きいものです。異文化での体験の種が、やがて大きく花開くようにと、本学では様々なレベルとアプローチからなる外国語教育科目が提供されています。海外留学プログラムに参加する前にも後にも、貴重な体験をより有意義なものにする科目がたくさんありますのでチェックしてみましょう。また、これらのプログラムが実施される現地の大学のほとんどは、協定校になりますので、現地での生活を実際に体験した後に、次は長期派遣留学に挑戦するのも良いでしょう。本学では学生の海外留学を支援するために、奨学金も準備しています。入学後、ぜひ早い段階から語学カウンセリング(→51ページ参照)などを活用し、海外留学プログラムや外国語の学習について各語部の教員に気軽に相談してみてください。より明確で具体的な目標を立てて外国語学習を進めていくことで、大学生活がきわめて充実したものになるだけでなく、将来の豊かなキャリア形成にも確実につながってきます。ぜひ、チャレンジしてみてください!



海外留学プログラムの特徴

POINT 1

正課科目として、短期(2~5週間)、中期(4ヶ月)のプログラムを提供しており、留学に関する奨学金もあります。また、短期プログラムであるサマープログラム、スプリングプログラムは1年次から受講可能です(初修外国語のサマープログラムは2年次生から受講可能)。

POINT 2

語学研修だけではなく、異文化体験もプログラムに含まれており、語学力向上と同時に国際人としての成長のきっかけとなります。

POINT 3

短期、中期プログラムの次のステップとして、大学間協定、学部間協定による派遣留学で専門分野の勉強を行うことが可能となっており、皆さんの学習意欲に応じて受講できるようになっています。

海外留学プログラム一覧

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020・2021年度は全プログラムにおいて渡航することができませんでした(2021年度は一部のプログラムでコロナ禍における特別措置としてオンラインで実施しました)。2022年度は一部のプログラムから渡航を再開することができ、2023年度は一部のプログラムを除き渡航にて実施できました。2024年度は多くのプログラムで渡航を再開しています。詳細は下記国際課のHPで公開される募集要項を確認してください。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/overview.html ▶



▶ 2023年度 スプリングプログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ホーソン・メルボルン英語学校 (オーストラリア)	2024年 2月16日~ 3月17日	約25名(最少催行人員:20名)
		ヨーク大学 (イギリス)	2024年 2月17日~ 3月20日	約24名(最少催行人員:10名)
		セブ医科大学 ^(※1) (フィリピン)	2024年 2月19日~ 3月15日	約30名(最少催行人員:5名)
英語B	3	セント・メアリーズ大学 (カナダ)	2024年 2月24日~ 3月17日	約30名(最少催行人員:15名)
		オークランド大学 (ニュージーランド)	2024年 2月10日~ 3月11日	約20名(最少催行人員:12名)
英語C	2	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)	2024年 2月19日~ 3月12日	約25名(最少催行人員:10名)
		オタゴ大学 ^(※2) (ニュージーランド)	2024年 2月13日~ 3月17日	約25名(最少催行人員:10名)
英語D	1	(2023年度開講なし)		
ドイツ語	3	フライブルク大学 (ドイツ)	2024年 3月3日~ 3月29日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	3	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) (フランス)	2024年 2月21日~ 3月23日	約20名(最少催行人員:5名)
中国語	1	華東師範大学 (中国)	(2023年度開講なし)	
スペイン語B	3	サラマンカ大学 (スペイン)	2024年 2月22日~ 3月20日	約20名(最少催行人員:10名)
韓国語	3	慶熙大学 (韓国)	2024年 3月4日~ 3月25日	約20名(最少催行人員:1名)

(※1)こちらのプログラムはオンラインで実施しました。

(※2)こちらのプログラムは2024年度より英語A(4単位)になります。

▶ 2024年度 サマープログラム(英語)

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語A	4	ヨーク大学 (イギリス)	2024年 8月4日~ 9月4日	約24名(最少催行人員:12名)
		ディーキン大学 (オーストラリア)	2024年 8月5日~ 9月15日	約20名(最少催行人員:10名)
		アリゾナ大学 (アメリカ)	(2024年度開講なし)	
		ゲルフ大学 (カナダ)	2024年 8月4日~ 8月25日	約30名(最少催行人員:15名)
		セブ医科大学 (フィリピン)	(2024年度開講なし)	
		トンプソン・リバーズ大学 (カナダ)	2024年 8月4日~ 8月25日	約30名(最少催行人員:11名)
英語B	3	スタンフォード大学 ^(※) (アメリカ)	(2024年度開講なし)	
		カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ)	2024年 8月8日~ 9月8日	約25名(最少催行人員:10名)
		コーク・カレッジ大学 (アイルランド)	2024年 8月4日~ 9月1日	約15名(最少催行人員:1名)
		ロンドン芸術大学 ^(※) (イギリス)	(2024年度開講なし)	
		オークランド大学 (ニュージーランド)	2024年 8月10日~ 9月8日	約20名(最少催行人員:3名)
英語C	2	カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)	2024年 8月4日~ 9月2日	約20名(最少催行人員:10名)
英語C	2	ケンブリッジ大学 (イギリス)	2024年 8月4日~ 8月24日	約40名(最少催行人員:32名)

※こちらのプログラムは今後の再開は未定です。

▶ 2024年度 サマープログラム(初修外国語)

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
ドイツ語A	4	(2024年度開講なし)		
ドイツ語B	3	マルティン・ルター大学 (ドイツ)	2024年 8月3日~ 8月30日	約20名(最少催行人員:1名)
フランス語	4	フランシュ=コンテ大学 (フランス)	2024年 8月2日~ 9月2日	約20名(最少催行人員:5名)
中国語B	3	北京大学 (中国)	2024年 8月4日~ 9月1日	約20名(最少催行人員:6名)
スペイン語	4	ラス・アメリカス大学 (メキシコ)	2024年 8月10日~ 9月9日	約20名(最少催行人員:10名)
ロシア語	4	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学 (ロシア)	(2024年度開講なし)	
韓国語	3	延世大学 (韓国)	2024年 8月3日~ 8月29日	約20名(最少催行人員:7名)

▶ 2024年度 セメスタープログラム

科目名	単位数	研修校・研修地	研修期間	募集人数
英語I・II	I・II各4	ウィニベグ大学 (カナダ)	2024年 8月31日~12月16日	約30名(最少催行人員:10名)
		ディーキン大学 (オーストラリア)	2024年 8月6日~12月9日	約30名(最少催行人員:10名)
		ハワイ大学 (アメリカ)	2024年 8月24日~12月23日	約30名(最少催行人員:7名)
ドイツ語I・II ^(※)		チュービンゲン大学 (ドイツ)	2024年 2月29日~ 8月9日	約15名(最少催行人員:10名)

※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」は、同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の一部の科目となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

英語 スプリングプログラム

English

スプリングプログラム 英語 A ヨーク大学 [イギリス]

プログラム期間
2023年2月18日(土)～3月22日(水)

Report of the instructor

イギリスのヨーク大学で英語を集中的に学ぶ4週間のプログラムです。同志社大学生のために構成された本プログラムでは、週5日、英語4技能向上のための授業だけでなく、イギリス社会・文化についての授業が提供され、様々なプロジェクトを通じて英語で発信する練習をします。大学での授業以外にも学ぶ機会や得られる経験が豊富にあります。ホームステイでイギリスの家庭を直に経験して、日常生活を通してイギリス文化を学ぶことができます。さらに、現地学生が大学内のツアーで主要な場所、図書館、教室を学生目線で案内してくれるので、キャンパスでの生活に効率よく馴染むこともサポートしてくれ



ます。加えて、フィールドトリップによる映画ハリポッターに出てきた中世の街並みジャンブルズへの訪問、北ヨーロッパ最大のゴシック様式の

大聖堂、ヨーク・ミンスターの見学等を通して、イギリスの歴史に触れることができます。また、ヨーク大学生のメンターと一緒にアフタヌーンティーやミニゴルフを楽しむ機会もあり、現地学生との交流等を通して、貴重な異文化体験を得ることができます。プログラムに参加した学生は、現地サポート体制やプログラム内容についてほぼ全員が非常に満足していました。本プログラムが、参加者にとって大変意義のある経験になることは間違いないでしょう。



体験記

"「自ら行動」で充実した留学に"

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私はあまり英語が流暢ではなかったため、ホストファミリーとの会話やお店での注文の時に発音がわからず、言いたいことが伝わらなかったことが何度ありました。単語や文法がわかっているのに、発音が合っていなかったらこんなにも伝わらないのかと悲しくなりました。そばに日本人の友達で英語が上手な子がいた時はその子に通訳してもらったり、1人の時は書いて翻訳アプリで伝えたりしました。せっかく留学に来たのに翻訳アプリを使うのはどうかとも思いましたが、便利な時代に生まれたのだから困った時こそ利用できるものは利用しようと思いました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

海外に行くのはほとんど初めてだったのですが、他の国の文化に現地で直接触れることで外国人に対する見方が変わりました。話す言葉も見た目も生活習慣も自分の生まれた国のものとはまるで違うけれど、仕事や行動から、当たり前ですが彼らもやはり同じ人間だと思える部分がたくさん見つけました。このような部分を見つけたことで、言葉が通じなくても積極的にコミュニケーションをとってみようと思えました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学で、語学力が飛躍的に伸びたとは正直思いませんが、英語をもっと学びたい!というモチベーションになりました。留学中にもっと英語を勉強していれば良かったと思う場面がたくさんあったので、苦労した発音を中心に英語力を向上させたいです。また、イギリス人の一般的な働き方は日本人のものとは大きく異なっていました。どちらも良い点悪い点がありますが、自分に合った就職先を探す際の選択肢を日本以外にも広げてみようと思えました。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

平日は毎日授業でプレゼンの作成など大変なこともありましたが、放課後は街へ出て買い物したりカフェに行ったり、1ヶ月という短い期間で毎日何をしようか考える日々がとても楽しかったです。また、私はヨーク以外にもスコットランド、リーズ、ロンドン、マンチェスター、ケンブリッジとたくさんの都市を訪問し、さまざまな景色を見ることができました(アクティブすぎてホストファミリーに毎度驚かされてました笑)。1ヶ月間をどう過ごすかは自分次第ですが、より充実させるために自ら行動でき、さまざまな経験を得ることができ、このプログラムに参加して本当に良かったと思います。

スプリングプログラム 英語 B セント・メアリーズ大学 [カナダ]

プログラム期間
2020年2月22日(土)～3月15日(日)

Report of the instructor

このプログラムは、カナダの西部に位置するノバスコシア州ハリファックス市にあるセント・メアリーズ大学にて、3週間にわたり研修を行うものです。ビジネス・イングリッシュとカナダ文化を学ぶ内容となっており、参加学生の卒業後に役立つような実践的な英語力と知識を培うことができます。授業は月曜から金曜の9時から16時まで、同志社の学生のために作られた特別なカリキュラムの下で行われます。午前中は、プレゼンテーション、ビジネス文書、ビジネスコミュニケーション等のビジネス英語運用能力の向上を図る授業を受け、午後にはサービス・ラーニングのワークショップや実習、企業訪問やメーブル



シロップ農場訪問、また史跡、博物館、市中のショッピング・センター訪問、市長訪問、アイススケート等、多岐にわたる学びと経験の機会が用意されています。さらにアイスホッケー観戦、週末のオプション・ツアー等もあり、中身の濃い3週間となるでしょう。研修中はホームステイで、ホストファミリーとの日常的な交流の中で、自分のコミュニケーション力の伸びも実感できると思います。参加者は、この機会を生かして大変充実した学びを得ました。このプログラムを通して貴重な体験が得られることを願ってやみません。

体験記

" 3週間の研修を終えて "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ホストマザーとの雑談が弾まなかったことです。初めは失敗することや変な雰囲気になることを心配していましたが、数日経ってそんなことは気にせずにマザーとの会話を楽しみたい一心で、自分からたくさん話しかけてみることにしました。すると、意外と自分の英語でも通じることや、マザーが私が言葉にするのを待ってくれることを知り、その後は毎日会話を楽しむことができました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

初めての海外で、今までとはまるで違う生活・環境に身を置くことで、客観的に日本や自分について考えることができるようになりました。自分が今まで当たり前だと思っていたことが、この国では当たり前じゃないなんてことは山ほどあり、自分の中の固定概念が崩されていきました。3週間でたくさんの新鮮な経験を経て、少し物事を俯瞰する力がついたのではないかと思います。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

何かに取り組むとき、固定概念に囚われないように気をつけたいです。今回の留学で、国や人それぞれに、いろいろな考え方や文化・生活があることを学びました。卒業後、何かに取り組むときには、自分の知っていることや考えていることだけが正しい訳ではないということを忘れないようにしたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

たった3週間でも学べることや感じるものがたくさんあります。さらに言えば、海外での生活を経て、日本に帰国したあとでも改めて気付くことがあります。留学の目的は語学力向上だけに限られてはいけません。留学は今しかできないことですし、行って後悔することもないと思うので、ぜひおすすめしたいです。

スプリングプログラム 英語C カリフォルニア大学アーバイン校 [アメリカ]

プログラム期間
2023年2月20日(月)～3月14日(火)

Report of the instructor

このプログラムは、アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア大学アーバイン校にて3週間にわたって研修を行うものです。これは同志社大学生専用で作られた特別プログラムで、その授業はアメリカの英語教育の認定協会(CEA)にも認められた高い水準のものです。

授業は平日午前中に実施され、9:00～10:20はSpeaking & Listening、10:30～11:50はReading & Writingに焦点を当てたクラスです。午後は、近隣施設の見学ツアーや現地学生との交流会が数回予定されています。また、合計12時間のConversation Partner Meetingでは、同志社大学生4人に対してUCIの学生1



人という少人数のグループで、会話をしたり、一緒にゲームやスポーツを楽しんだりします。週末には、ハリウッドツアーやディズニーランド、NBAの試合観戦などのオプションツアーに参加できます。研修中の滞在先はホームステイで、ホストファミリーとの日常的な交流のなかで生きた英語を学ぶことができます。

アメリカは多文化・多民族国家であり、カリフォルニア州では特にそれを実感できるでしょう。本プログラムを通して、英語力を鍛えるのみならず、多様な文化や新しい価値観に触れ、これからのグローバル社会で活躍するための足がかりにしていなければ幸いです。



体験記

" 学びのある刺激的な時間が待っていました "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に最も苦労した点は、やはり言葉が通じないことです。ネイティブの人の速いスピードについていけず、自分の言いたいことも発音や言葉の間違いで通じないことも多くありました。アメリカ到着後に初めて行ったハンバーガー屋では、チキンハンバーガーを注文したところ、ハンバーガーが通じず、チキン単体で出てくるという事もありました。私がそのような言葉の壁を乗り越えた方法は、失敗を恐れずに何度でも聞き直し、伝わるまで言い直すことです。私はそれを繰り返すうちに、だんだん英語に慣れていき、英語での会話が上達したと感じています。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は今回の留学で、英語での会話に慣れることができました。初めは発音や文法が合っているか不安になりながら話していましたが、毎日英語で話していたことで、英語に慣れて、英語を話すことへの不安がなくなりました。また、自分の英語が伝わらないときは、ジェスチャーや言い回しを変えることなどによって、自分の意思を何とか伝えることができるようになりました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

留学では、日本の家族や友達と完全に離れての生活でした。異国の地で初対面の家族と一緒に暮らし、このプログラムを通じて初めて出会ったメンバーと協力し合って生活しました。この経験から、新しい環境への適応力や、協調性、自主性を培うことができたと考えています。大学卒業後に就職した先で、アメリカ生活で得た協調性や適応力を活かし、新しい環境でも上手く順応していきたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

私はこの留学で、人生で初めて海外に行きました。そのため、さまざまな不安がいっぱいでしたが、行ってみると、楽しく学びのある刺激的な時間が待っていました。アメリカでは、見るもの全てが新鮮で、私の人生で最も濃い3週間を過ごすことができました。このプログラムへの参加を迷っている人は、不安もあると思いますが、ぜひ挑戦してみてください。挑戦した先には、最高のアメリカライフが待っているはずです。



サマープログラム 英語A トンプソン・リバーズ大学 [カナダ]

プログラム期間
2023年8月12日(土)～9月4日(月)

Report of the instructor

トンプソン・リバーズ大学は、カナダのブリティッシュ・コロンビア州のカムループスという自然豊かな地域に位置する州立の大学です。本大学は国際交流に力を入れており、さまざまな国からの留学生が学んでいることでも知られています。本プログラムは、トンプソン・リバーズ大学の附属語学学校で3週間にわたり行われるもので、同志社大学の学生のためにデザインされた研修プログラムです。このプログラムでは、一般的な英語運用能力の総合的な伸長を目指すだけでなく、カナダの文化、たとえば先住民の暮らしや文化などに関する授業に加え、ビジネスや経営についても英語で学ぶことができます。アクティ



ビティも充実しており、地元の企業の協力を得て行われる企業見学や、ビジネスパーソンによる講演への参加、さらにスポーツや文化体験が可能です。これらのアクティビティに参加することにより、教室内では得られない貴重な体験ができるでしょう。滞在中はホストファミリーと過ごすこと

なります。ホームステイを通して、カナダでの生活を経験し、地元の人々と積極的に触れ合うことで、英語力をさらに伸ばすだけでなく、視野を広げられることも期待できます。



体験記

" 肌で感じた海外での生活 "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私が一番悩んだのはホストファミリーとの日常会話です。留学前、会話が聞き取れなくて全く話せないのではないかと不安に思っていました。非常にクリアにわかりやすく話してくださるので、全くわからないということはありませんでした。しかし、聞き取ることができても質問されたらそれに答えるだけであったり、うまく相槌が打てないことに悩みました。そこで、話を聞いたなら何でもいから相槌を打つことと、どんなに些細なことであっても疑問に思えば聞いてみることを意識しました。その結果、徐々に一つの話で数回やりとりが続くようになり、より会話を楽しめるようになりました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力はもちろん向上しましたが、それ以上に精神面での成長が大きかったと思います。留学中は自分からアクションを起こさなければならぬ場面が多々あり、日々何かしら勇気を持って行動していました。そして、親のように何かあれば助けてくれる存在もいないので、自分の力で物事を解決する力もついたと思います。また、語学力に関しては、書く力ではなく「使う力」が伸びました。なので、留学を通して英語がペラペラに話せるようになったわけではなく、拙い英語でも話してみようとする姿勢が身についたように思います。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

たった3週間という短い期間ではありましたが、海外生活の一部を体験し、もっと長く留学したいという思いが強くなりました。それはおそらく、この留学で様々な文化を肌で感じ、海外で暮らすことがよりリアルに想像できるようになったからだと思います。裏を返せば、実際に経験してみなければ海外での暮らしがどのようなものかわからなかったということでもあり、この気付きは今後の学びにおいても生きるものです。また、留学中に勇気を出して試行錯誤した姿勢を今後も維持していきたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

不安はたくさんありましたが、実際に行ってみると本当に楽しく安心できる日々でした。

参加されるみなさんもクラスメイトと出掛けたり各々の体験をみんなでも共有したりして、新しいことに溢れた刺激的な毎日になると思います。短期間で英語が完璧に話せるようにはなりません。私は英語力だけではなく、むしろそれ以外の部分で自己成長ができたと思います。きっと留学に行ってもよかったと思えるはずです。

サマープログラム 英語B コーク・カレッジ大学 [アイルランド]

プログラム期間
2023年8月12日(土)~9月11日(月)

Report of the instructor

The UCC Summer Program (English B) took place in the city of Cork, Ireland from August 12 to September 11 in 2023. Because of the Corona restrictions, we had not initialized the program during the summers of 2020 and 2022, and had an online version in the summer of 2021. Then we were very excited to re-start our face to face program during the summer of 2023. The program lasted for four weeks. Our students first took the placement test and they were placed in classes according their test results.



about the history of Ireland, Irish culture, UCC, and different aspects of studying abroad.

English and learn about and enjoy the city of Cork. Through social activities, parties, and events, students had more opportunity to get to know each other, other cultures, and the Irish culture. There were excursions to touristic and historical places of the region. Students also enjoyed staying with their host families. Through this experience, they could practice English, almost 24 hours a day, enjoy Irish culture in a genuine way, and also make friends from different countries.

City of Cork is the second largest city of Ireland and has a vibrant city life with its unique Irish culture and its famous historical sites. Students have all enjoyed the city as well as various facilities of the UCC during their stay and they were happy to get to know the unique Irish culture. Studying English in the city of Cork, together with modernity and history, and learning about the genuine Irish culture is a great opportunity one can gain in this program.

The summer program also included after-class activities to encourage students to practice their

All classes were in the morning and mainly focused on improving the students' speaking, listening, and vocabulary skills. Students also worked on presentations to improve their communication skills. Number of participating students varies every year and this year we had 13 participants from different faculties. We met during our five preparatory classes before going to Ireland. We generally talked

体験記

" 少しの勇気が大きな自信に "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ホストファミリーの英語が聞き取れなかった事です。アイルランド独特の発音に苦戦しました。乗り越えられたとは言えませんが、方法としては分かるまで聞き返すことです。学校の先生はアイルランド出身ではない先生が多く、ホストファミリーと会話を重ねて徐々に慣れていきました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

積極性です。この留学は1ヶ月と短い期間だったので、留学にいく前から「初めから積極的に話す」ことを目標にしていました。授業でも1週目から積極的に発言し、グループワークでたくさん意見を出したりと積極的に英語を使っていました。わからない事があると授業終わりに先生に聞きにいたり、友達に聞いたり英語を使うことを恐れずにコミュニケーションを沢山とって行くことで積極性が身につきました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

英語関係の仕事ではありませんが就職先はすでに決まっています。そのためこれから英語を使う機会は減っていきませんが、就職してから留学で得た積極性や様々なことに対する好奇心を常に忘れないようにしたいです。また将来海外で働くことも視野に入れていたので、今回の留学が「海外で働きたい」という諦めかけていた思いを現実的に考えられるきっかけとなりました。この留学で得た英語へのモチベーションを新たな目標達成の糧として持ち続けていきたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

1ヶ月という短い期間ではできることが本当に少ないです。そのため留学前に「自分は何をしたいのか」と言うことをよく考える必要があると思います。初めは緊張したり不安や恥じらいがありました。しかしそれを克服するには自信をつけるしかないと思い、緊張している中でも授業で一言、二言発言してみました。このことがとても自信につながりました。そこから簡単な単語や短い文章を発していくことで更なる自信につながり、英語を話すことがとても楽しくなりました。難しすぎても簡単すぎても面白くないので授業のレベルも自分のあったところが一番良いと思います。このsummer school が私にとって今まで受けた中で一番楽しかった英語の授業でした。



サマープログラム 英語C ケンブリッジ大学 [イギリス]

プログラム期間
2019年8月10日(土)~9月1日(日)

Report of the instructor

ケンブリッジ大学は、物理学者ニュートンや生物学者ダーウィンを輩出した、イギリスでオックスフォードに次いで2番目に古い名門大学です。本プログラムではケンブリッジ中央部にあるセント・キャサリンズ・カレッジに3週間滞在し、英語やイギリス文化(文学や建築・美術)を学びます。緑豊かな大学内の眺めは素晴らしく、すぐ近くにケンブリッジのシティ・センターがあるので、便利かつ安心した環境で留学生活を送ることが出来ます。



音をはじめとして、異文化理解やビジネス英語など様々な観点から英語を学ぶ工夫を凝らしています。また、週末にはロンドン観光や周辺地域へのフィールドトリップも用意されています。

本プログラムの最大の特徴は、ケンブリッジ大生から成る6名のTAが、あらゆる場面で手厚いサポートをしてくれることです。TAとの日常的な英語でのコミュニケーションを通じて、学んだ英語を日々実践することができます。また、定員はサマプロのなかでも比較的多く、様々な学部、学年の参加者が交流し切磋琢磨できる絶好の機会となっています。ぜひケンブリッジで貴重な夏休みを過ごしてください。

英語の授業はプレシメントテストにより4クラスに分かれるため、レベルにあった授業を受けることが可能です。個性豊かな教授陣が文法や発

体験記

" 様々な分野に関心が広がった "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

私は、他のプログラムメンバーより英語のリスニング力があまなかったため、プログラムの初期の時期、早口で話されると理解がつかないことが多々ありました。英語を頭で翻訳するのではなく、状況を頭でイメージすることを意識し始めました。また、自分が話す際も英語のイメージと自分が話したいことのイメージをできるだけ結びつけるようにも意識しました。そうすると、日本語から英語へ、英語から日本語へ、といった思考のプロセスが減り、以前より英語がスムーズに話せるようになってきたことが実感できました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

自身の専攻だけでなく様々な分野への関心が高まった点が一番成長したと感じています。私は今まで、自身の学科の友人たちと交流する機会が多かったので、文系の方々がかかるような他分野の話をするのはほとんどありませんでした。今回のプログラムでは、様々な異なる学科のメンバーとの交流だけでなく、英語を活用したビジネスや文化、芸術、文学といった分野の授業があり、好奇心の幅が広がりました。他分野をもっと知ることで、今後の留学生生活をより豊かなものにできると確信できました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

就職をするか、大学院進学をするかで悩んでいるのですが、将来、英語を活かせるITの職に就くことを前提に今の学生生活を楽しんでいます。私は今回の留学で、国際問題や各国の政治問題、歴史、文化等に目を向けることもまた重要であると気づかされました。お互いの国を知り、尊重する姿勢がなければ、それは協力・信頼にはつながらないと考えるからです。私は将来、英語とITを手腕に良識ある国際人になりたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

このプログラムでは、英語能力の向上はもちろんのこと、様々な出会い、様々な視野を広げるための機会に溢れています。あなたの積極性次第で、留学の前後に見えるマインド的なビジョンは大きく変わるかもしれません。また、留学自体が目的、ゴールではなく、その先にある未来のビジョンを実現するためのステップとして、このプログラムを最大限に楽しみ、学んでくれることを願っています。

セマスタープログラム 英語 I・II ディーキン大学 [オーストラリア]

プログラム期間
2023年8月10日(木)~12月11日(月)

Report of the instructor

本プログラムは、本学の協定大学でもあるディーキン大学の付属英語学校(Deakin University English Language Institute: DUELI)で学ぶ1セマスタの海外英語研修プログラムです。1974年創立のディーキン大学は比較的新しい大学ですが、その実践的な教育により、オーストラリア国内外で高い評価を得ています。留学生向けの英語教育にも定評があり、世界中から多くの留学生を受け入れています。



DUELIでは各学生のレベルとニーズに合わせた様々なコースが提供されています。総合的な学術英語スキルの向上を目指す一般英語コースや英語圏の大学への正規留学を目指す

す学生のための大学進学準備英語コース、IELTS対策コースなどがあり、学生は自身の英語力と目的に合わせてコースを選択することが

可能です。

キャンパスがあるビクトリア州メルボルンは、歴史ある街並みと近代的な建造物とが見事に融合し、世界で最も住みやすい都市ランキングで7年連続1位に選ばれたことがあります。異なる言語、宗教、食文化をもった移民が多く住む都市でもあり、多様性を肌で感じながら快適な留学生活を送ることができるでしょう。



体験記

" 恐れることなく挑戦すること "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私は、自分の考えをはっきりと主張することに苦労しました。察しの文化の中で生きてきた私にとって、思っていることを言葉にすることは馴染み深いものではなかったのですが、自分の意見をしっかりと主張する他国の学生の良い影響を受け、徐々に自分の意見を主張し、意見が合わないことがあればしっかりと話し合って解決するという習慣を身につけることができました。



2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学面では、友達やホストファミリーとの会話で学んだ新しい表現を復習し、それらを実際の会話で使ってみるというサイクルを作ることで、スピーキング力が大きく伸びたと思います。精神面では、積極性を身につけることができました。留学前はどちらかというと何事にも消極的なタイプでしたが、留学期間を有意義に過ごすため、他国の学生とたくさん交流し、積極的に新しい場所に出向いたことで、何事にも恐れることなく挑戦することができるようになったと思います。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

留学前は、4年で大学を卒業し、就職することに固執していたところがありましたが、現地で様々な世代の様々な目的を持った学生に出会ったことで、生き方は1つではないのだと視野を広げることができました。まだ今後の具体的なプランは決まっていますが、海外大学院進学も視野に入れながら、柔軟に自分の将来について考えていこうと思います。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

約4ヶ月という期間は、思っているよりもあっという間でしたが、短いからこそ一分一秒を一生懸命過ごすことができ、かけがえのない友達に出会って、貴重な経験をすることができたのだと思います。慣れない環境に飛び込むことは怖いと思いますが、セマスタープログラムでの経験は間違いなく、皆さんにとって大きな財産になると思います。

サマープログラム ドイツ語 B マルティン・ルター大学 [ドイツ]

プログラム期間
2023年8月12日(土)~9月2日(土)

Report of the instructor

サマープログラム ドイツ語B(マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク)は、ドイツ北東部に位置する歴史的な都市で開講される、3週間の夏期語学研修講座です。講座が開講されるマルティン・ルター大学は、ハレとルターシュタット・ヴィッテンベルクに位置するドイツの中で最も古い大学の一つであり、この地で宗教改革を起したマルティン・ルターやフィリップ・メランヒトンらも教鞭をとった由緒ある大学でもあります。授業では、世界各地から集まった学生たちに囲まれながら、実践的なドイツ語を身につけるだけでなく、ドイツの文化、社会、経済とヨーロッパの歴史や現状についても学びます。



平日はマルティン・ルター大学国際サマープカデミーの専門スタッフによるコミュニケーションを重視したドイツ語のインテンシブな授業があります。こうした語学プログラムに加え、文化プログラムとして現地の歴史的建築物の見学、ワー

クショップ、スポーツ、ライブツィヒへのエクスカージョン(グループの日帰り旅行)なども企画されています。また週末には、自分で計画を立て、首都ベルリン、ポツダム、ドレスデンなどドイツ東部に位置する諸都市への日帰り旅行もできます。ヴィッテンベルクの近郊や市内にも豊かな自然やドイツ史の重要な舞台となった魅力的な場所が多く、近場でもドイツの文化と社会を満喫することができるでしょう。

参加者はホームステイをしますので、ドイツの家庭での日常を体験できるだけでなく、ホストファミリーと交わされる日常会話は、実践的なドイツ語を学ぶ貴重な機会となります。

体験記

" 留学で培った積極性 "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に一番苦労した点は意思疎通が思うようにできないという点です。特に何かわからないことを説明してくれた時に自分が知らないドイツ語が沢山出てきて、たとえあまり理解できてなくても、何度も聞き直すのは申し訳ないと思いそのままにすることが留学に行ってはじめてのころはよくありました。しかし、途中からは自分が完全に理解できていないことはそのままにせず、何度でも積極的に聞き直すことでそのようなことは解消されていきました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学では自分の思っていることを伝えるということに対して、積極性を身につけることができました。留学前は何事に対しても積極的であるということはありませんでした。しかし、自分の意見や疑問を伝えるために、自分から話したり、動いたりしなければいけない環境に置かれたことで、多少の積極性を身につけることができました。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学で様々な文化、慣習を持つ人々と関わることができたという体験は自分の人生に大いに役立つと思います。特に就職してからは大学以上に新たな人と関わり、対話をしなければいけない事が多くなると考えられるので、その時に今回の留学で言葉も文化も違う人々と関わり、対話をしたという経験は大いに役立つと思います。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

本プログラムはホームステイということもあり、日本ではなかなか知ることができない、生きたドイツ文化を学ぶことができます。私は今回のプログラムで、自分が思い描いていたドイツの文化と実際に体験したドイツの文化が大きく異なるという事を強く感じさせられました。また、3週間という短期間なので、留学に不安を持ちながらも、留学に興味があるという方にはぴったりなプログラムであると思います。

スプリングプログラム フランス語 CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修) [フランス]

プログラム期間
2023年2月17日(金)~3月20日(月)

Report of the instructor

フランスの中央に位置するヴィシーのCAVILAMは1964年にクレルモン・フェラン大学とヴィシー市によって設立され、外国語としてのフランス語教育に関してトップレベルの施設です。年間を通じてフランス語を学ぶ人達が世界中から集まって来ます。受講生は学生だけではなく、外国政府の役人、ビジネスマン、研究者と様々です。CAVILAMの先生やスタッフの方は参加学生のフランス語体験が実り多いものとなるためにいつでも相談に乗ってくれます。この街は温泉保養地としても有名で、緑に囲まれた人口約2万5千人の小さな街です。落ち着いて勉強するのに非常に適している環境といえます。



参加者は、最初の月曜日にプレースメントテストを受け、各自のレベルに合ったクラスに配属されます。授業は10名から15名の少人数制で行われます。必修のフランス語講座以外に、午後には自由参加のパラエティーに富んだ課外活動が開催されます。近隣の街へのエクスカッション、地元チー

ズの紹介、刺繍のクラス、映画の上映会、スポーツなど、毎週変わります。教室に座っているときだけがフランス語、フランス文化の学びではありません。こうした課外活動には積極的に参加してください。研修期間中の滞在形態は寮またはホームステイのいずれかを選ぶことができます。行く前までは不安のあった学生も、帰国すると皆、一回り成長して戻ってきます。フランス語の語学能力が大きく向上したのももちろんのこと、肌でフランスを感じて過ごした時間が自分の中で大きな自信につながり、さらに前進する原動力になるようです。この体験を足がかりに、いつも多くの学生が本格的により長期の留学を考えるようになるのもそのためです。

体験記

" 知らない世界に自ら飛び込む "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

到着して一週間は、会話を聞き取ることが困難でした。日常生活を送る上で、最低限必要な会話すらままならず、ホストファミリーの生活を理解するのが困難でした。最初は、分からない事が辛く、会話を避けようとしてしまいましたが、会話をしないと意思疎通はもちろん、相手の文化、生活などを知れないと考え直し、リビングルームや、ダイニングルームで宿題などをし、できるだけフランス語で会話する環境に自分を置き、ホストファミリーを知り、乗り越えました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

フランス語圏に1か月、身を置くという事から、リスニング力は成長したと感じます。また、精神面では、チャレンジ精神が成長しました。外国人と、フランス語でコミュニケーションをとる上で、思っていることが伝わるように、文法が無茶苦茶でもいので、積極的に自分から喋れるようになる事ができました。また、様々なアクティビティで、フランス独自の文化など私たちの知らない世界に、自分から飛び込んで沢山の経験ができたので、チャレンジ精神がとても重要であることも同時に学び、より成長したと感じます。

3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学で得た様々な経験は、大学院進学へはもちろん、就職活動など幅広く生かされると確信しています。語学を習得する困難さ、継続することの大切さ、積極的に様々な事にチャレンジして様々な角度から1つの目標を達成する方法などを学びました。また、1か月のホストファミリーの家での滞在により、他国の文化を理解し、自国の文化との違いを肌で感じて、現地の生活に適應する感覚なども得ることで、今後の海外での生活などに生かされたいと思いました。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

フランス語を話せるようになりたい、勉強したいと思っている方は、絶対参加すべきだと思います。自分自身、今回が初めてのホームステイで、不安や迷いはありましたが、ホームステイをすることで圧倒的にフランス語に触れる時間が長くなり、フランスの文化、生活も知ることができ、とても満足しています。学校の先生も事務職員もとてもやさしく、街全体で留学生を歓迎してくれているので、行って後悔はないと思います。貴重な経験ができる素晴らしいプログラムでした。



サマープログラム 中国語 北京大学 [中国]

プログラム期間
2019年8月9日(金)~9月1日(日)

Report of the instructor

2019年度の中国語サマープログラムは8月9日から9月1日まで、北京大学で実施されました。参加したのは、中国語を1年半ほど学習した2年生を中心に、上級生や初学者、韓国人留学生も含む計17名でした。授業は、各自の語学レベルに応じてクラス分けされるので、どのような学生にも対応可能です。学生たちは、日本の他大学の学生や様々な国から集まった留学生とともに学び、協力関係を築きながら語学力を養い、異文化への理解も深めています。

語学の授業は平日の午前中、経験豊富な中国人の先生が担当しますが、午後の時間をつかって、補講プログラムによる個人指導を受けるこ



ともできます。さらに、万里の長城などの史跡の見学や、京劇の鑑賞などの各種イベントも用意されています。また自由時間も多く、学生たちは自分たちで他の世界遺産を訪れたり、街の散策に出かけたりすることもできます。期間の中ほどには、寝台

車に乗って内モンゴルを訪れる小旅行も全員参加型で組み込まれています。草原でモンゴル族の食生活、放牧、生活文化環境を体験することができ、都会とは違った世界も味わえます。

参加学生からは、このような留学生活を通して、中国語のリスニングとスピーキング能力が大幅に高まった、中国に対する認識が変わった、といった報告を多く受けています。

座学だけでは学びえない多様な収穫があるサマープログラムの経験は、今後の学生生活を豊かにし、新たな学びや将来に対する何らかのヒントを与えてくれるものになるはずで、新たな学生の参加をお待ちしています。

体験記

" 北京留学で得られたもの "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

買い物や観光地に行った際に、現地の方と会話をする時に上手く中国語を話すことができなかつた。慣れるまでは苦労したが、回数を重ねるごとに会話ができるようになった。机上ではあまり学ぶことがないフレーズが多かったため、日常生活でのリスニングやスピーキングで会話力を上げることができた。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

北京に1ヶ月住むことで、語学力と精神面での成長ができた。語学力については、これまでリスニングがほとんどできなかったが、単語やフレーズが聞き取れるようになった。また、精神面については、挑戦することの大切さを改めて学び、中国人の生きる強さに影響を受けて自分も強くなった。日本ではあまり感じる事のない緊張の中で生活することで、グローバル社会で生きる上での対応力を身につけることができた。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

卒業後は中国語をさらに学び、中国に対する理解をさらに深め、北京以外の都市を訪問したいと思う。また、就職した時には、北京で得た強さや学びを糧にして、自分自身でいろんなことに挑戦していきたい。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

北京でのサマープログラムは短期間だが、この1ヶ月の間に様々な経験を通じて多くのことを学ぶことができるため、迷っている方にはぜひ参加してほしい。私は実際に北京で生活してみて、苦労する場面もあったが、それ以上に中国のことがもっと好きになり、かけがえのない思い出を作ることができた。英語圏ではない国に留学する機会はありませんので、大学生のうち経験してほしい。

スプリングプログラム スペイン語 B サラマンカ大学 [スペイン]

プログラム期間
2023年2月19日(日)~3月17日(金)

Report of the instructor

2022年度のスペイン語のスプリングプログラムは2月19日から3月17日までサラマンカで実施されました。本スプリングプログラムは、留学生向けのスペイン語学習で有名なスペイン最古の大学であるサラマンカ大学で実施されます。3週間にわたり1日4時間の授業を受講します。授業は午前中に行われ、午後はサラマンカ大学の施設を利用して勉強やスポーツをしたり、世界遺産であるサラマンカ旧市街を巡ったりします。サラマンカは大学生が多く、安全な街ですが、タバスやワインを楽しむバルも多く、いつも活気に溢れています。現地のホストファミリーと生活するため、スペインの文化、食事、生活様式を肌で感



じ、初日からスペイン語会話を実践することができます。週末にはサラマンカ大学主催のアピラ、レオン、エスコリアル宮殿など近郊への日帰り遠足や、セビリアとコルドバを訪れるアンダルシアへの3日間の旅行があります。若い時期のこうした異文化体験は、人生観を広げるうえで大きな意味を持ちます。一人でも多くの学生に積極的に来知の世界に飛び込んでいってほしいと願っています。



体験記

"相手にとって大切なことが自分を広げるカギに"

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に一番苦労したことは、同世代のスペイン人と関わる機会を作ることだった。サラマンカ大学ではスペイン語を学ぶ留学生と共に授業を受けるので、現地の大学生との交流は無かった。サラマンカは留学生が多く、現地の人と交流の場があるため、そこに自分から出向き話しかけた。そうして初めてスペインの友達を作ることができた。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で自分自身が最も成長したと思う点は、普段の生活で身の回りにあることに興味を持ってた事である。ホストファミリーをはじめとする現地の人との会話を弾ませ、自分のスペイン語力を向上するためには会話のネタが必要であった。そのネタとして、これは何?どうして?など、スペインでの生活で気になったことを聞くようにした。そうする事で自分のスペイン語力も向上するし、聞かれた方も喜んで教えてくれる。相手の大事にしていることに興味を持つことがいかに大事か強く実感できた。

3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

自分が成長したと思う点で挙げた、相手の大事にしていることを大事にして興味を持つというのは、就職活動等でも大きく役立つと思う。企業の大事にしていることは何か、なぜそれを大事にしているのかに興味を持つことは意味があると思う。それを踏まえた上で、自分から積極的に行動する事も重要だと思うので、就職活動以外の場面でも活かされる。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

1ヶ月弱のサラマンカ大学への語学留学では、スペイン語力を向上するだけでなく、現地の生活や風習を体感する事ができる。このプログラムには、スペインの芸術や食事などの文化、そして言語を極めたい人というよりも文化や言語を体験したい人の参加を勧める。特にスペインの食事は美味しく、ぜひ色々食べて欲しいという個人的な思いから、食べる事が好きな人に参加してほしい。



サマープログラム ロシア語 ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学 [ロシア]

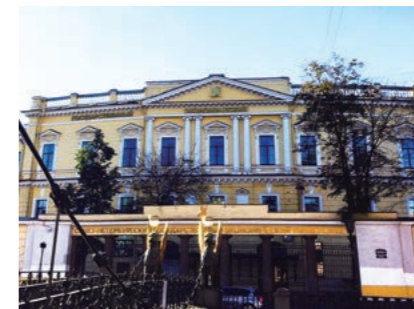
プログラム期間
2018年8月19日(日)~9月10日(月)

Report of the instructor

2018年度のサマープログラム・ロシア語は8月19日(日)から9月10日(月)にかけてロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学を研修先として実施された。

初日の午前はマイクロバスによる市内ツアー、午後は簡単なパーティーとオリエンテーションを終えた後、口頭によるクラス分けのための簡単なテストが行われた。7名の参加者は二つのクラスに分けられ、2日目以降は10時から13時までの授業(休憩あり)が、土・日曜日を除いて毎日行われた。

同志社大学の学生を何年にもわたって教えていただいているシュルギン先生らによる授業は、アットホームな雰囲気の中で進められた。ロシア語の



早口言葉、キャンパスツアー、簡単なロシア史の講義など盛りだくさんである。

帝政ロシアの首都であったサンクト・ペテルブルクには見るべき建造物や博物館が多いが、大学国際課の職員タチャーナさんの尽力により効率的に多くの場所を回ることもできた。滞在期間の終わりに学生たちは、自主的に町を探索していたようである。関西国際空港使用不能状態への対応で、引率者はかなり時間をとられたが、学生たち自身がしっかりと自己管理をしてくれたおかげで大いに助かったと思っている。

体験記

"こまめに調べる癖付で単語量が増えた"

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

ロシア語は大学でずっと授業を取っていましたが、実際に話したり聞いたりするような力を持ち合わせておらず、自分の語学力の低さには苦労させられました。授業で先生の話していることを理解する、お店で買い物する際の店員とのやりとりなど、初めはただ頭がいっぱいになって言葉を発することもできませんでした。少しでも知っている語彙を増やそうと思い、知らない単語はすぐに辞書で調べてノートにまとめることを毎日続けているうちに、次第に相手の言っていることが少しずつ聞き取れるようになり、単語を並べて自分の言いたいことを伝えられるようになりました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

語学力に関して、街中にある看板や標識に書いてある単語を見るたびに、どういう意味なのか調べる癖がつき、自分の単語量が増えたと思います。また、授業で毎日出される「その日の出来事」を文章で書くうちに自分の言いたいことを文章にして伝える力が少しついたように思います。



3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回のサマープログラムに参加し、ロシアの文化や歴史、人々の生活の様子について学ぶことができたのと同時に、自分がいかに日本のことに関して無知であるかがわかりました。今後は日本、主に今自分が通っている京都の歴史や文化について学び、日本の魅力を海外の人に伝えていきたいです。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

ロシアという自分にとって未知の国に行くということに参加するが迷いましたが、今は参加して本当に良かったと思います。実際にロシアの地で生活し、街の風景を見たり、買い物をしたりすることで、もっとロシア語を勉強して話せるようになりたいという意欲が湧きました。自分の語学力を伸ばしたいと考えている人はもちろん、少しでも興味がある人は参加してみることをお勧めします。

サマープログラム コリア語 / ハングル 延世大学 [韓国]

プログラム期間
2023年8月28日(月)～9月19日(火)

Report of the instructor

本プログラムは、夏休み期間中に、ソウルにある延世大学校韓国語学堂で行われている3週間短期課程に参加してコリア語を学習するものです。語学堂では、日本語がほとんど通用せず、また各国から参加した多様な母語話者の学生でクラスが編成されるため、日本語でのコミュニケーションが可能な日本での学習環境とは大きく異なります。教室外でももちろんコリア語によるコミュニケーションが基本となります。3週間という決して長くはない期間ですが、このような言語環境に身を置く中で、各自のコリア語レベルを大きく伸ばすことができるでしょう。

プログラムでは、週5日(月～金)、毎日4時間



(9時～13時)、総60時間の授業を履修します。授業が始まる前に、レベル分けテストを通じて、各自のコリア語能力に合ったクラス(1級～8級)に編成され、13人前後のクラスで学びます。正規の授業以外に、週一回程度、韓国文化体験に参加します。韓国料理教室や演劇鑑賞などがあり、積極的に参加することでコリア語のレベルを楽しみながら向上させることができます。

延世大学の語学堂は世界でも最も定評のある韓国語教育機関です。このプログラムに参加し、韓国生活を楽しみながら、ぜひ自分のコリア語の実力を高めてみましょう。

体験記

" 帰国後も検定試験に挑戦中 "

1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

授業は全て韓国語で行われるので最初はついていけない不安でした。しかし、同じクラスの友達やサマープログラムで一緒に行った仲間がいたので、互いにわからない単語を教えあったり、放課後はカフェに行って勉強をして3週間の授業を楽しく過ごすことができました。また、授業のクラスは自分のレベルに合うように振り当てられるので、自分の分かること・分からないことが明確になり自分の実力を見つめなおせたなと感じました。

2. 一番自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

今回の留学で語学力は伸びたと感じます。授業が全て韓国語で行われるので、耳が韓国語に慣れていき会話をする時に自然とフレーズが浮かんでくるようになりました。日本で韓国語を学ぶのとは違い、韓国の人が実際に話しているのを聞くことで、会話の言い回しや発音の感じをたくさん吸収できたと思います。地下鉄やご飯屋で近くの韓国人の会話を聞き取れるか挑戦するのも楽しかったです。

3. 今後卒業後(就職/大学院進学等)どのように今回留学した経験を活かしたいか

私は今、観光客が多い地域でアルバイトをしているのですが、韓国人のお客さんがたくさん来ます。その時に韓国語で接客をしたいと思います。3週間韓国にいたことで、接客のフレーズもいくつか覚えたのでぜひ使いたいです。また、せっかく語学研修に行ったので、大学生のうちにいけるところまで韓国語の試験に合格したいと考えています。

4. その他(本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

私はこのサマープログラムに参加してよかったと思っています! 語学力が伸びたのはもちろん、何よりも3週間韓国で生活して楽しかったです。3週間という長い時間を使って、旅行ではなかなか行けないマイナーなところに行ったり、ソウル市郊外に行ってみたりと様々な経験ができました。帰国の日が近づくと、韓国料理が美味すぎる、かわいいカフェがたくさんあること、交通機関の安さなどを感じ帰るのが惜しくもなりました。最初は色々不安なこともあるかもしれないけど、必ず楽しい3週間になると思います!



ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

2017年度にドイツのテュービンゲン大学に同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(以下「EUキャンパス」という)を開設し、2019年度からEUキャンパスで開講する教育プログラムである、「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」をスタートしました。EUキャンパスの特色を生かした科目構成となっていますので、ぜひこの機会にEUキャンパスで多様な価値観に触れ、幅広い視野を身につけてください。

本プログラムは以下の4科目、14単位で構成しており、全て春学期科目となります。

科目名	クラス	単位数	概要	定員
Semesterプログラム・ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	-	各4単位	1 Semester集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。授業はドイツ語のみで行われ、4月下旬からは習熟度別のクラスで、テュービンゲン大学への交換留学生とともに学びます。また、ドイツの省庁、研究所などへのフィールドトリップが4回実施されます。	約15名 (最少催行人員10名)
Intercultural Studies	-	2単位	テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。	
EUキャンパス特別講義	001 003	2単位 2単位	ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とします。テーマごとにクラスを展開します。	

※2024年度プログラムの募集は終了しています。2025年度の募集、及び科目の詳細については、2024年10月上旬に実施予定の募集説明会に参加し、そちらで配布される募集要項を確認してください。募集説明会の日時・場所については以下のURLに公開する募集案内を確認してください(2024年9月上旬に公開する予定です)。

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram_depg.html



EUキャンパス支援室長 和田喜彦教授からのメッセージ

テュービンゲンはドイツの南西部に位置する人口約9万人の学術都市です。テュービンゲン大学は、室町時代、応仁の乱が終結した年1477年に創立されたドイツ最古の大学のひとつです。新島襄もこの大学の存在をよく認識していたようです。テュービンゲン大学は歴史が古くだけでなく、現在も高い学術的水準を維持しています。2024年のTimes Higher Education世界大学ランキングは95位となっており、また、ドイツの大学で最高水準の大学であることを示すエクセレンス・イニシアティブにも選ばれています。これまでにノーベル賞受賞者11名を輩出しています。このような学修環境で学ぶことができるのはとても恵まれていることといえましょう。

EUキャンパスプログラムは、新島襄が望んでいた同志社大学の教育展開の一環であると考えています。積極的な参加を全学部の学生に呼びかけたいと思います。このプログラムを通じて真の国際人になるきっかけをつかんでください。



ドイツ語 セメスタープログラム

German

セメスタープログラム ドイツ語 I・II テュービンゲン大学 [ドイツ]

プログラム期間
2023年2月28日(火)～8月5日(土)

Report of the instructor

「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は、2019年に新設され、爾来、同志社大学とドイツのテュービンゲン大学、両大学の異文化交流の教育プログラムとして、ドイツ語・異文化理解の面で多くの実績を残してきました。長年にわたって研究交流が継続されており、今出川キャンパスには「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」が設置されています。2023年度も本プログラムが実施され、集中的にドイツ語研修を受けるとともに、ドイツ及びEU文化、社会などについて学ぶものです。今出川キャンパスで4回のドイツ語集中コースに出席していた学生12名は4ヶ月テュービンゲン大学内で研



修しながら、ドイツの生活を満喫できました。留学の体験は、ゼミや授業からの学びを更に多く「見える化」したものです。多くの驚きや戸惑いがあったと聞いていますが、こうしたドイツから帰っ

てきた学生諸君の多彩で積極的な達成感こそが、同志社大学の発展にとって最も重要な基盤となります。本プログラムに参加された学生諸君がこれからもドイツ語の勉強をし続けることを期待しています。最後になりますが、ご協力いただいた、両大学の職員や教員の皆様に心より御礼申し上げます。



体験記

" 内向的な自分ものびのびと学習できた "

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に苦労した点は、現地の授業に慣れることです。ドイツで受けた授業形態は今まで私が受けてきた日本のものとは大きく異なり、最初はとても戸惑いました。特に、ドイツ語の授業では、グループでコミュニケーションをとったり、軽いディスカッションが行われるので、文法の勉強や単語の暗記だけでは足りず、最適な勉強方法を見つけることに苦労しました。最初は、慣れない授業形態と自信のなさから、私は、授業の参加に消極的でした。しかし、幸運なことに、授業内であまり発言しない私を悟ってくれた先生が、私に度々話を振って下さったおかげで、このまま黙ってばかりではだめだと思ふようになり、徐々にグループ内で発言する機会が増えるようになりました。先生のサポートやのびのびと発言できる環境に囲まれたおかげで、ドイツ語の授業を楽しく受けることができたのだと思います。

2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

私は、外国の人とのコミュニケーションをとる能力が少し伸びたと思います。はじめは、英語もドイツ語も話せないで、コミュニケーションを取ることができず、現地の人や日本人以外の留学生と話すことを敬遠していました。実際に、私にとっては、日本語以外でコミュニケーションをとる際、ほとんど上手に伝わらなかったため、とても体力を使いました。しかし、いろいろな人と母国語以外で話していくうちに、100パーセント伝わらなくても、そして、完璧な文法で話さなくても大丈夫なんだと感じるようになり、外国の人と話すときにあった恐怖感がなくなりました。最終的には、タンデムパートナーの人と出かけた時、ドイツ語の授業で同じクラスになった人たちとも楽しく話すことができるようになりました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回の留学で得た経験は、日本の典型的な「新卒一括採用」という雇用制度の型にはまる必要はないということです。ドイツで出会った人たちは、年齢に関係なく興味のある分野に熱心に取り組んでいました。自身の将来について詳細はまだ決まっていますが、年齢を理由に諦めるのではなく、様々なことに挑戦し、学び続ける姿勢を忘れずにこれから生活したいと思ふます。

4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は、初海外と一人暮らしで、留学生活を送るのがとても不安でした。加えて、内向的な性格であることから、一番留学に適していない性格だと自認しています。そんな私が留学をしたと思ったきっかけは、多様な人と交流して、視野を広げ、自分自身を変えたいと思ったからです。日本で海外の人と交流できたら、留学する必要はないのではないかと直前まで思っていたのですが、実際に5か月の留学を経て、現地ならではの新しい発見や出会いがたくさんあり、本当に行ってよかったと思いました。このように思えるのも、本プログラムの手厚いサポートのおかげです。このプログラムでは、現地の方が、日常生活に関する不安など相談に乗って下さったり、日本学科の方と交流する機会がたくさん設けられています。よって、自ら積極的に人と交流するのが苦手だったり、海外で一人生活することに不安を感じている方は、本プログラムに参加することをお勧めします。

海外留学プログラム統計(出願者・合格者)

こちらは渡航して実施を予定したプログラムの統計となり、新型コロナウイルス感染症拡大前に募集を行った2019～2020年度の統計結果を掲載しているプログラムがあります。2020年度は募集を行ったプログラムもありますが、全プログラムにおいて渡航することができませんでした。2021年度は全プログラムにおいて渡航することができませんでしたが、一部のプログラムでコロナ禍における特別措置としてオンラインで実施しました。2022年度はスプリングプログラム、セメスタープログラムの一部のプログラムで渡航して実施しました。

▶ スプリングプログラム

科目名	研修先	定員	2023年度		2022年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ホーソン・メルボルン英語学校(オーストラリア)	約25名	47	30	2022年度開講なし	
	ヨーク大学(イギリス)	約24名	47	24	77	24
	セブ医科大学(フィリピン) ^(※1)	約30名	0	1	6	8
英語B	セント・メアリーズ大学(カナダ)	約30名	22	25	2022年度開講なし	
	オークランド大学(ニュージーランド)	約20名	12	20	2022年度開講なし	
英語C	カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)	約25名	10	12	40	30
	オタゴ大学(ニュージーランド) ^(※2)	約25名	21	25	4	8
英語D	2016年度以降開講なし					
ドイツ語	フライブルク大学(ドイツ)	約20名	8	8	5	5
フランス語	CAVILAM -Alliance française (クレルモン・フェラン大学監修)(フランス)	約20名	12	12	8	8
中国語	華東師範大学(中国)	約20名	2023年度開講なし		2022年度開講なし	
スペイン語B	サラマンカ大学(スペイン)	約20名	17	17	12	12
ロシア語	慶熙大学(韓国)	約20名	23	21	2022年度開講なし	

(※1)セブ医科大学はオンラインで実施しました。

(※2)こちらのプログラムは2022年度はオンラインで実施しました。

▶ サマープログラム(英語)

科目名	研修先	定員	2023年度		2019年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語A	ヨーク大学(イギリス)	約24名	49	24	25	25
	ディーキン大学(オーストラリア)	約20名	29	20	31	20
	アリゾナ大学(アメリカ)	約20名	2023年度開講なし		6	8
	ゲルフ大学(カナダ)	約40名	2023年度開講なし		26	29
	セブ医科大学(フィリピン) ^(※3)	約30名	8	6	41	36
英語B	トンプソン・リバーズ大学(カナダ)	約30名	45	35	16	16
	スタンフォード大学(アメリカ)	約10名	2023年度開講なし		8	8
	カリフォルニア大学デービス校(アメリカ)	約25名	13	21	23	24
	ヨーク・カレッジ大学(アイルランド)	約15名	9	13	11	13
英語C	ロンドン芸術大学(イギリス)	約28名	2023年度開講なし		23	22
	ケンブリッジ大学(イギリス)	約40名	2023年度開講なし		39	38
	カリフォルニア大学サンディエゴ校(アメリカ)	約30名	2023年度開講なし		10	9

(※3)セブ医科大学は2023年度はオンラインで実施しました。

▶ サマープログラム(初修外国語)

科目名	研修先	定員	2023年度		2020年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
ドイツ語A	2019年度以降開講なし					
ドイツ語B	マルティン・ルター大学(ドイツ)	約20名	5	5	5	3
フランス語	フランシュ＝コンテ大学(フランス)	約20名	9	9	3	2
中国語 ^(※4)	北京大学(中国)	約20名	2023年度開講なし		16	13
スペイン語	ラス・アメリカス大学(メキシコ)	約20名	2023年度開講なし		2	2
ロシア語	ロシア国立サンクト・ペテルブルク経済大学(ロシア)(隔年)	約20名	2023年度開講なし		5	5
ロシア語	延世大学(韓国)	約20名	28	27	11	11

(※4)2022年度以降、中国語B(3単位)としてオンラインで実施しています。

▶ セメスタープログラム

科目名	研修先	定員	2023年度		2022年度	
			出願者	合格者	出願者	合格者
英語I、II	ウィニベグ大学(カナダ)	約30名	28	27	31	25
	ディーキン大学(オーストラリア)	約30名	34	30	2022年度開講なし	
	ハワイ大学(アメリカ)	約30名	6	6	8	7
ドイツ語I、II	テュービンゲン大学(ドイツ)	約15名	14	13	17	14

※サマープログラム・ロシア語は、隔年開講。

※出願者より合格者が多いプログラムは、第2希望以下を併願し合格した者を含む。

※「セメスタープログラム・ドイツ語I、II」の出願者、合格者数は「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の統計結果となります。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」の詳細は、37ページを確認してください。

外国語関連科目

本学では、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目として、全学共通教養教育科目を提供しており、「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。「科目」は全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「○○科目」という名称のグループ分けしたものです。「科目群」は関連する「科目」をピックアップし、体系的に履修することができるようにしており、「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあります。その中で「国際教養科目群」は「国際教養科目」と一部の「クリエイティブ・ジャパン科目」、「外国語教育科目」で構成されています。

「国際教養科目」及び一部の「クリエイティブ・ジャパン科目」は異文化及び日本文化、世界の諸相及び諸課題を理解する「科目」、「外国語教育科目」は外国語運用能力、コミュニケーション能力を養成する「科目」となっており、バランスよく国際感覚を身につけることを目標としています。また、「国際教養科目」「クリエイティブ・ジャパン科目」には、外国語で授業が行われる科目や、留学生とともに学ぶ科目などが含まれています。国際社会で活躍するための素養を身につけるため、ぜひ、積極的に履修してください。

国際教養科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位数	科目区分
基礎科目	1～	国際教養基礎論1	2	国際教養科目
		国際教養基礎論2		
		日本近現代史		
		世界近現代史		
		世界の宗教		
		留学関連科目以外の外国語教育科目		外国語教育科目
展開科目	1～	比較言語文化論1	2	国際教養科目
		比較言語文化論2		
	1～	地域言語文化論1	2	
		地域言語文化論2		
	1～	メタ言語文化論1	2	
		メタ言語文化論2		
2～	ジョイント・セミナー比較文化論	4		
留学関連科目	1～	日本とアジア1	2	国際教養科目
	1～	日本とアジア2	2	
	1～	チュービンゲン大学科目	2	
	2～	Intercultural Studies	2	
	2～	EUキャンパス特別講義	2	
	1～	Freshman “Go Global” Program	2	
	1～	日本の伝統と美	2	クリエイティブ・ジャパン科目
		日本の伝統と文化	2	
		日本の伝統と芸能	2	
		日本の伝統と能楽	2	
日本の伝統と芸術		2		
		海外留学プログラム (サマープログラム、スプリングプログラム、 セメスタープログラム)		外国語教育科目
		グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(→54ページ参照)		国際教養科目

外国語関連科目について

外国語の学習は、その言葉が使われている地域の文化や歴史、つまり幅広い教養の習得の過程でもあります。グローバル化していく社会は、専門的な知識はもちろん、異文化を理解するための開かれた心を有する人材を求めています。本学では「比較」「地域」「メタ」という異なる切り口からの3つの「言語文化論」に加え、グローバル社会の諸事象を扱う「国際教養基礎論」などの多様な外国語関連科目を提供しています。このような関連知識の吸収を通して外国語の学習がより深められると期待されます。また本学では「外国語honors(オナーズ)制度」[P.52参照](#)の申請資格や「Doshisha “Go Global” Passport」[P.53参照](#)の授与要件としても外国語関連科目の履修を定め、外国語の学習と教養の習得が自然にキャリア形成につながるように配慮しています。関心ある学生諸君の積極的な受講を勧めます。

▶ 比較言語文化論

言語は、対象を把握し世界を理解するための一つの枠組み(体系)です。そして言語の上にその言語に固有の文化が築かれることとなります。とは言うものの、多くの場合、一つの言語文化は純粋にそれだけ孤立して存在するものではなく、他の異なる言語文化と動的な関係を持ち、交渉することによって自らを形成するという側面を持ちます。比較言語文化論は、二つ以上の異なる言語文化の接触による受容と変容の過程を考察することを目標とします。その際に、どの言語文化が「優れている」とか「正しい」とかいった狭量な価値評価の姿勢ほど不適切なものはないでしょう。例えば「英語」というひと括りの中で考えても、イギリスやアメリカ合衆国で使われる英語がスタンダードで、その他の地域で使われる英語は「方言」と考えるのは危険です。イギリス英語もアメリカ英語もシンガポール英語もガーナ英語も、それぞれが「英語」のバリエーションとして対等の位置づけをされるべきなのです。そういった高次の視点を培うことこそが、この比較言語文化論の目的といってもよいでしょう。

▶ 地域言語文化論

政治、経済、そして情報ネットワークの各領域におけるグローバル化が唱えられて久しくなります。このような新しい時代の流れの中で、「ローカル」と「グローバル」の境界線はますます曖昧で流動的になってきています。しかし、一方で、世界の様々な地域で様々な民族が様々な言語を使って暮らしていることは紛れもない現実であり、「グローバル化」の名のもとに単純には捉え切れない複雑化した歴史的背景と多様な価値観が存在するのです。21世紀を生きる私達には、こうした多元的な現実に対する、より洗練された視点が必要とされているのではないのでしょうか。「ローカル」と「グローバル」の潜在的歪みや、その歪みの中で生きる人々に対する同時代人としてのまなざしを養っていくことが、今ほど必要とされている時はないのでしょうか。今年度の「地域言語文化論」でも様々な地域に関する講義が提供されますが、どれも人間と社会、文化の多様性をより立体的に捉えるための内容となっています。

▶ メタ言語文化論

言語は、人間を他の動物と区別する大きな要素といわれています。地球上には現在知られているだけで約6,000の言語が存在しています。さらに、調査が進めば言語の数は、8,000から10,000に達すると推定されます。その一方で、すでに90%の言語が消滅の危機に瀕しているといわれているのです。言語は日常生活の中で使われ、どんなに小さくてもその言語を共用する共同体(言語共同体)が、存在することで存続することができるのです。このことは言語と言語共同体が不可分の関係にあり、ある言語が他の言語にとって代わられたとき、その共同体とその文化そのものが変質することを意味しています。それは言語が文化を形成する重要な要素であり、言語は文化そのものといっても良いからです。メタ言語文化論は、個別の言語を学習するのではなく、人間にとって言語や言語を含む文化記号がどのような意味を持つのかを考える講義科目群です。今、私たちが当然視している言語とは何かをじっくりと考えてみませんか。

▶ 国際教養基礎論

「国際教養」という言葉は、皆さんには耳慣れない言葉かもしれません。「国際」という言葉と「教養」という言葉のドッキングに違和感を覚える人もいるでしょう。しかし、「国際教養基礎論」はとりたててとっぴなことを学ぶ科目ではありません。本学に入学した皆さんは、英語をはじめとする様々な外国語を学ぶこととなります。しかしどのような外国語にせよ、言語には必ず固有の文化的基盤が存在します。英語は今や世界共通語のようになっていますが、どのような地域で用いられようが、どのような人種、民族の人に用いられようが、英語は英語である限り、この言語を母語として用いてきた人々の歴史や文化を根っここのところを持ち続けています。同じようなことは他の外国語についてもいえます。ですから、外国語の学習においては、言語の背後にあるそのような文化的基盤を知っておくことが大変役に立ちます。簡単なゲームでさえ、ルールを知らなければ少しも面白くないのと同様に、世界の様々な地域の文化を知るためには、まず最低限知っておくべき事柄があります。これを勉強するのが「国際教養基礎論」なのです。講義担当者はそれぞれに自分が担当する外国語の文化的基盤に対する見識を持った専門家ばかりです。外国語学習に役立つ、と書きましたが、必ずしも自分が学んでいる外国語に関係のある科目を受講しなければならないというわけではありません。皆さんの将来計画や興味、関心に合わせて履修することが可能です。また「基礎論」とはいうものの、興味があれば何年次生でも履修が可能です。

▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを20名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。原則、外国人教員、または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに受講すると効果的です。1科目のみでも受講することができますので、科目内容への関心に応じ、チャレンジしてください。(詳細は54ページ参照) また、次項(留学生と学ぶ科目)で紹介するAKP科目、KCJS科目、スタンフォード大学科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」に含まれています。

▶ 留学生と学ぶ科目

京都で多彩な教育研究を展開する本学へは海外からの留学生も多く、国籍を超えた学びと交流の場があります。

AKP(Associated Kyoto Program)科目

AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ペイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

スタンフォード大学科目

スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

ジョイント・セミナー比較文化論

この科目はAKP(Associated Kyoto Program)の学生・教員との共同で実施されます。受講生の半数はAKPの留学生となり、本学とAKP双方の担当教員が合同で指導を行います。授業は全て英語で行われ、日本とアメリカの文化や社会についてディスカッションし、フィールドワークを行います。この授業を通じて国際理解を深め、英語の表現力を身につけてください。



KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies)科目

KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、一年または一学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロムビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

チュービンゲン大学科目

チュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのチュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年チュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているチュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をチュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、チュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)



▶ 兼修外国語

英語と6つの初修外国語の他に「兼修外国語」として2年次より「基礎イタリア語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を学ぶことができます。それぞれ週1回の授業でイタリア語の基礎を習得します。イタリアの文化や言語に関心のある人はぜひ受講してください。

5 Self Evaluation of Language Ability Using CEFR 外国語能力評価

今の自分の外国語の能力がどこにあるかを、下の表を見て把握してみましょう。そうすれば、これから授業や日頃の学習を通して、どこを伸ばしていけば良いのかが見えてくるはずです。

CEFR※自己評価の目安(簡略版)

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解する	聞く力	はっきりと、ゆっくりと話してもらえれば、聞きなれた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。	身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。	テレビのニュースや時事問題、標準語の映画ならほとんど理解できる。	特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	母語話者の速いスピードで話されても、どんな種類の話し言葉も難なく理解できる。
	読む力	掲示やポスター、カタログなどの中の良く知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストや簡単な手紙は理解できる。	日常語や、自分の仕事関連のテキストなら理解できる。簡単な私信を理解できる。	現代の問題についての記事や報告が読める。現代文学の散文は読める。	複雑なテキストを理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事も理解できる。	抽象的で複雑なテキストなど、あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話す	会話力	必要なことや身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	短い社交的なやり取りをすることができる。	日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話ができる。	身近な話題の議論に積極的に参加し、自分の意見を説明できる。	社会上、仕事上の目的に合った言葉使いができ、自分の考えや意見を正確に表現できる。	いかなる会話や議論でも努力しなくて加わることができる。
	表現力	住んでいるところ、また、知っている人たちについて簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件を簡単な言葉で説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、目標を語るができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明ができる。	複雑な話題を、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめることができる。	論理的な会話で聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書く	書く力	お祝いのメッセージなど、短い簡単な言葉を書くことができる。	簡単に短いメモやメッセージ、短い個人的な手紙なら書くことができる。	身近で個人的に関心のある話題を書くことができる。私信や経験や印象を書くことができる。	興味関心のある話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。	手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。	論理的に事情を説明し、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。

※Common European Framework of Reference for Language(ヨーロッパ言語共通参照枠)

“Go Global”ポートフォリオ

“Go Global”ポートフォリオとは？

“Go Global”ポートフォリオとは将来、グローバルに活躍することを目指す皆さんの大学での学びをサポートするWebシステムです。自身の語学スコアや留学履歴を表示し、留学に関するレポートやアンケートを提出することができます。また、ポートフォリオというデータスペースに自分の学習の成果物をためて、後から振り返ることもできます。

“Go Global”ポートフォリオでできること

- 語学スコアの登録
- “Go Global”Passport取得までの到達状況の確認
- 派遣留学の出願
- 短期・中期留学(サマー・スプリング・セメスター)プログラムの出願
- 留学、海外での学習歴の登録
- コミュニティ機能の活用

など、その他便利機能も満載です。ぜひ活用してください。

実際にログインしてみましょう！

“Go Global”ポートフォリオログイン方法

ログイン <https://sso.doshisha.ac.jp>

同志社大学HPのWebシングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から“Go Global”ポートフォリオを選択してください。IDとパスワードは、ご自身のシングルサインオンのID、パスワードを入力してください。

マイページ (トップページ)

ログインをすると最初に表示されるページです。お知らせや更新情報などが表示されています。

①マイポートフォリオ

ポートフォリオ(データベース)が表示されます。参加したコースの履歴が表示されるとともに、自身で設定した目標を記入したシートや提出した授業課題、アンケートなども蓄積されます。

②マイコース

あなたが参加しているコース一覧が表示されます。

③マイコミュニティ

あなたが参加しているコミュニティ一覧が表示されます。「国際課からのお知らせ」では学内で行われる語学講座の情報や留学フェア、外部機関からの情報などを提供しています。

④設定

まずは、リマインダ設定をしましょう。リマインダ設定は、「お知らせ」「コースニュース」「レポート開催告知」「コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ」「レポート提出のお知らせ」「自分のポートフォリオのコレクションに付いたコメントのお知らせ」の6点を「受信する」に設定してください。

⑤留学関連情報

体験記等、全学に提供している留学プログラムに関する情報を入手できます。また、各留学プログラムへの出願はここから行います。具体的な出願方法は、各プログラムの要項を確認してください。

⑥プロフィール

あなたのプロフィールが表示されます。語学スコアや留学・海外学習歴、“Go Global”Passport取得までの状況確認もここでできます。



語学スコア、留学・海外での学習歴の登録

語学スコアと留学・海外学習歴を登録しましょう。登録は、プロフィール画面より行うことができます。

語学スコア、留学・海外学習歴の登録

語学検定試験のスコアが登録できます。プロフィール画面より[新規登録]をクリックし、各項目を入力してください。

※語学スコアの登録には、スコア証明書の添付が必要です。



“Go Global” Passport取得までの到達状況の確認

“Go Global” Passport の認定要件の到達度を“Go Global”ポートフォリオから確認することができます。すべての認定要件に到達することで、“Go Global” Passport認定者用のアイコンが表示されます。

1 プロフィールボタンをクリックします。

2 画面をスクロールし、“Go Global” Passport」認定要件の取得状況を確認できます。

3 すべての要件を達成すると“Go Global” Passport」認定者向けのアイコンが表示されます。

※認定要件の到達度は大学側で定期的に更新しますが、反映までに時間がかかる場合があります。
※“Go Global” Passportの詳細は53ページを参照してください。



e-Learning

同志社大学では、学生の自律的な学習を支援するため、「スーパー英語」と「Practical English」をオンライン自学自習教材として用意しています。共に、PCだけではなくお手元のスマートフォン、タブレットなどからもアクセスが可能ですので、隙間時間などを活用して計画的に学習してください。

※「スーパー英語」は学部生、大学院生(正規学生のみ)が利用可能ですが、「Practical English」は所定の科目の履修者のみ利用可能となります。

<https://www.doshisha.ac.jp/students/elearning/index.html>



スーパー英語 (Academic Express 3)

■スーパー英語とは

スーパー英語は単語、文法、リスニング、リーディングの4つのスキルごとに豊富な学習リソースを備えたe-Learningシステムで、TOEIC®テストやTOEFL®テストといった資格試験対策にも最適です。同志社大学の正規学生であれば、登録料・利用料は不要で利用に際して申請は必要ありません。

■学習の流れ

▶ Placement Quiz

学習開始前に10分程度の小テストで4つのスキルを判定。レベルに応じた教材を提案します。

▶ Training Bank

Placement Quizの結果を参考に自分のレベルにあった教材で学習を始めましょう。Vocabulary、Grammar、Listening、Readingの4スキルを鍛えます。

▶ Portfolio機能

ある程度学習が進んだら、Portfolio機能で学習状況を振り返り、苦手分野にも積極的に取り組むようにしましょう。

▶ 週間!英語ドリル

毎週決まった曜日に新しい問題を出題し、学びの習慣をサポートする学習教材サービスです。

▶ Test Bank

TOEFL®/TOEIC®/TOEIC Bridge®テストの模擬テストが配信されます(対象のテストの換算点あり)。本番前の腕試しとしてご利用ください。

■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。 <https://www.super-eigo.doshisha.ac.jp/student/main/login/>



Practical English

■Practical Englishとは

初級～上級(TOEIC® L&Rテスト 225～990点)を対象とした、総合的な英語力をバランスよく強化できるe-Learningシステムです。こちらのe-Learningシステムは、以下の科目で利用します。

- ・Core English(LS)-Intermediate1、2
- ・Core English(LS)-Pre-Intermediate1、2
- ・Basic English(LS)1、2

■学習の流れ

▶ 診断テスト

学習開始前に診断テストで各スキル(「Listening」「Reading」「Grammar」)の英語力を測定。アダプティブフォーカスで診断テストを基に、あなたに必要なレッスンを提供します。

▶ スキル別のレッスン

「Listening」「Reading」「Grammar」のレッスンを受講。アダプティブフォーカスでレッスンの習熟度を分析して、最適なレッスンが提供され、総合的な英語力がバランスよく強化されます。

▶ レッスンテスト

各レッスン終了後にレッスンテストがあります。テストが不合格の場合は再度レッスンを受講し、合格を目指してください。

※学習方法の詳細については、授業時に説明がありますので、そちらを必ず確認してください。

■ログイン方法

右のURLへアクセスしてログインしてください。

<https://doshisha.reallyenglish.jp/login>



図書館の活用

場所: 今出川図書館(寧静館) / ラーネット記念図書館(京田辺)

英文多読学習法 (Extensive Reading)

英語で書かれた平易な文章をできるだけ多く読むことによって、英語表現を自然な形で身につける。英文多読学習法(Extensive Reading)が最近注目を集めています。

▶ 多読用資料(ESL)

多読用資料(ESL)は、外国語として英語を学ぶ学習者向けの、やさしい英語で書かれた外国語教材です。使用する主要な単語数を制限し、文章の量や文法事項を調整することで、学習者が辞書無しで読書を楽しめるように工夫されています。両校地の図書館で、「Macmillan Readers」や「Oxford Bookworms Library」等のシリーズを取り揃えています。また、今出川図書館ではドイツ語の教材も備えています。積極的に活用してください。

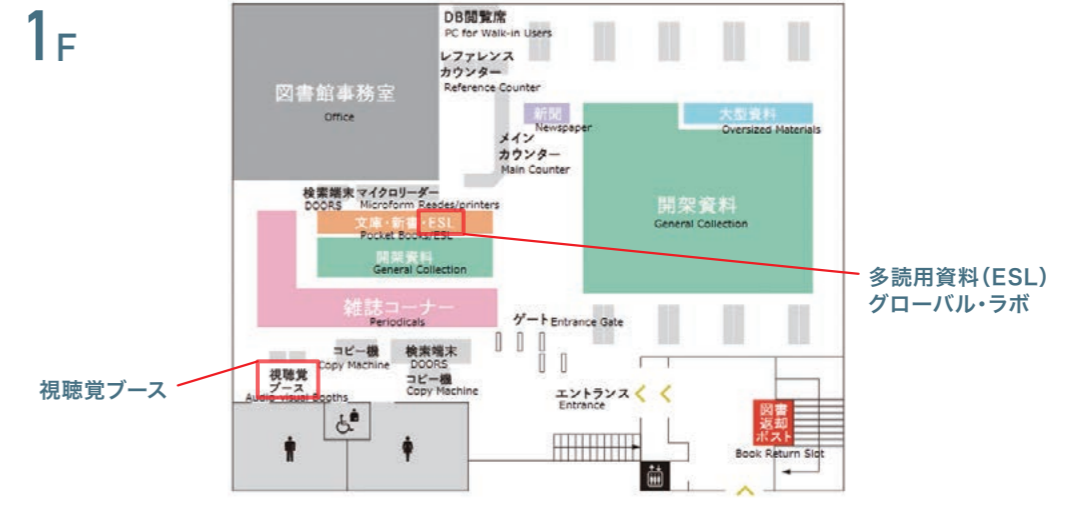
▶ グローバル・ラボ

「グローバル・ラボ」では、『語学学習に役立つ・異文化理解を深める・日本文化を学ぶ』の3つをコンセプトに学びをサポートする資料を多数取り揃えています。語学学習だけでなく、留学や異文化理解等にも役立ててください。

▶ その他の語学学習資料

図書館では語学検定試験対策に使える教材を用意しています。CDやDVDがセットになっているものもあり、今出川図書館では視聴覚ブース、ラーネット記念図書館ではマルチメディアコーナーで利用できますので、有効活用してください。

今出川キャンパス: 今出川図書館



京田辺キャンパス: ラーネット記念図書館



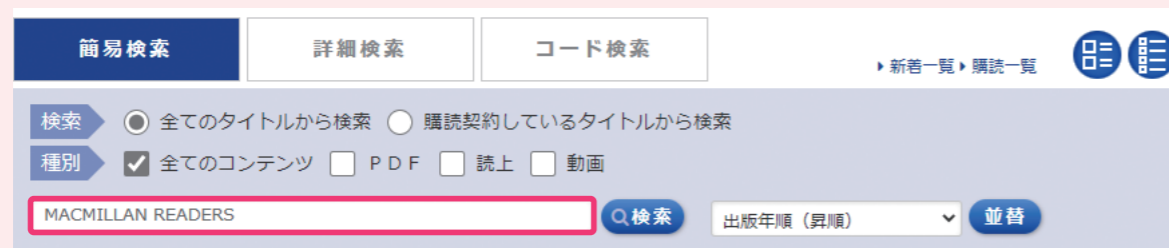
電子書籍の活用

多読用資料(ESL)は、多数、電子化されています。電子書籍は、時間や場所を問わず、いつでもどこでも利用できる便利な資料です。デジタルライブラリーのバナー「電子書籍を読もう!」から詳細をご確認ください。



■Maruzen eBook Libraryで利用した場合

- 1) 検索窓にキーワードを入力して検索します(出版社やジャンルでの絞り込みも可)。キーワードに「検索用」を追加すると、シリーズ一覧表示を検索できる場合があります。



- 2) 検索結果から、「試読」または「閲覧」ボタンを押すと読むことができます。「試読」には一定時間の制限がありますが、制限なくアクセスするために図書館に購入を「リクエスト」することができます。購入済資料には「閲覧」ボタンが表示され、印刷やダウンロードが可能となります(一部資料を除く)。



- 3) 利用後は速やかに「閲覧終了」ボタンを押し、次の利用者のアクセスにご配慮ください。

■ESLシリーズの紹介

・Macmillan Readers(マクミランランゲージハウス)

Level	Level 1 Starter	Level 2 Beginner	Level 3 Elementary	Level 4 Pre-Intermediate	Level 5 Intermediate	Level 6 Upper Intermediate	Macmillan Literature Collections
語彙数	300	600	1100	1400	1600	2200	制限なし
CEFR	A1	A1	A2	A2-B1	B1-B2	B2	C1-C2

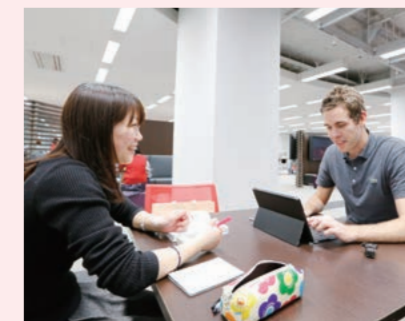
- ・Cambridge Experience Readers(Cambridge University Press)
- ・I Talk You Talk Press(I Talk You Talk Press)
- ・Pocket Readers . 10 Ways To(HALICO)

そのほか、Penguin Classics(Penguin Publishing Group)やVery Short Introduction(Oxford University Press)も電子書籍で利用できます。

良心館ラーニング・コモンズ「Global Village」の活用

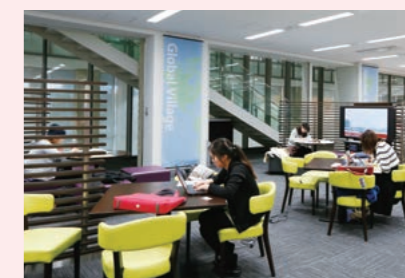
場所:良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)

今出川キャンパス良心館ラーニング・コモンズ2階に、「Global Village」というエリアがあります。ここでは、留学生と日本人学生の出会いを生み出す空間です。ハイカウンターやソファでリラックスした気分で国際交流が楽しめるほか(日本語禁止)、留学コーディネーターや留学アシスタント(後述)に留学に関する様々な相談・質問ができます。グローバル社会で活躍するために必要な能力を高めたいと考えている人は、ぜひ足を運んでください。



ラーニング・コモンズについて

ラーニング・コモンズは、今出川校地の良心館2階・3階と、京田辺校地のラーネッド記念図書館1階にあり、「ひらめき」を「実現」に変えていく様々な仕掛けが用意された自学自習空間です。また、今出川校地の新町キャンパスには、新創館1階に学習スペースとしてアカデミックプラザがあります。友人との共同学習やラーニング・コモンズ内で開催されるセミナー等を通じて、大学生として身につけておくべきスキルを培いましょう。



詳しい利用方法については、ラーニング・コモンズHP(<https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp>)を確認してください。

留学コーディネーター・留学アシスタント

場所:良心館ラーニング・コモンズ2階(今出川)
嗣業館1階国際課(京田辺)

専門の留学コーディネーターが、海外で培った豊富な知識や経験をベースに、学内のプログラムに限らず幅広く皆さんの留学やグローバルキャリアデザインに関する相談に個別対応します。また、海外の協定大学から本学へ交換留学中の学生が留学アシスタント(Go Global Assistant)として「Global Village」で留学に関する質問に対応します。



国際交流ラウンジ 場所:扶桑館2階(今出川) / 嗣業館1階(京田辺)

国際交流ラウンジは、外国人留学生と国内学生が国際交流を求めて集う場です。開室時間内であれば、本学学生は自由に利用できます。他にも、ラウンジでは異文化理解に有益な書籍や資料、学内外の国際交流企画を紹介するチラシ等が閲覧でき、また各種国際交流イベントも開催されています。語学力に自信がない方・国際交流に興味がなかった方も気軽に利用できます。まずは様子を少しのぞいてみてください。国際交流ラウンジなら、日本にいながら国籍を超えた交流と多文化理解を実現できます。



検定試験・対策講座

グローバル化が急速に進展する中で、外国語運用能力は皆さんの今後の選択肢の幅を大きく左右することになります。まずは自分の実力を知り、そして目標を設定し、計画的に学習を進めるようにしてください。

検定試験

本学学生対象または本学を会場として受験できる検定試験は以下のとおりです。各自でテストスケジュールを確認し、積極的に受験してください。

▶ TOEIC® L&R IPテスト

本学ではTOEIC® L&R IPテストを年8回(2023年度実績)実施しています。受験料はTOEIC® L&Rテストよりも安く、スコアは履歴書にも記載することができますので、ぜひ活用ください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ TOEFL ITP® テスト

TOEFL ITP® テストは、過去に出題されたTOEFL PBT® テストの問題を使用した団体向けのテストプログラムです。本学では年7回(2023年度実績)実施しており、通常のTOEFL iBT® テストに比べて受験料が安いというメリットがあります。このテスト結果は公式スコアとして使用することはできませんが、自分の実力を測る目安として、また本学の留学プログラムへの出願や一部の英語科目登録条件として使用することができます。留学を目指す人は、積極的に受験してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ IELTS™ テスト

本学は一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)が一般向けに実施するテストにおいて、会場を提供しています。本学の留学プログラムにおいて、IELTS™のスコアで申請できるプログラムや協定大学も多くあります。通いなれた場所で実施されるテストを積極的に活用し、目標スコアの取得を目指してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ ドイツ語検定試験A1/A2(A1:Start Deutsch 1 A2:Goethe Zertifikat A2)

ドイツ語検定試験A1/A2は、CEFRに基づく共通参照レベルで最初の段階であるA1レベルと、その次の段階であるA2レベルに相当します。A1:Start Deutsch 1は基礎的なドイツ語能力があれば受験することができ、1年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。A2:Goethe Zertifikat A2は、2年間ドイツ語を学習した人(目安)を対象としています。(詳細は<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/osa/prf.html>を確認してください)



【問い合わせ先】 全学共通教養教育センター 【申込場所】 今出川校地:今出川キャンパス教務センター 【費用】 同志社大学で受験する場合 京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター A1:4,500円/A2:5,000円

対策講座

本学学生を対象に語学試験の対策講座を以下のとおり実施しています。検定試験のスコアアップを目指す方は、積極的に受講してください。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ TOEIC® L&Rテスト対策講座

本講座は、TOEIC® L&Rテストのスコアアップを目的に、レベル別にコースを設定し、外部講師を招いて開講します。講座受講には申込と受講料が必要になりますが、一般的な講座と比較して安価で受講することができますので、積極的に活用してください。なお、2024年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

▶ IELTS™対策講座

IELTS™は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカなど140ヶ国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学の派遣留学先の大学でも、語学能力を測る試験のひとつとしてIELTS™を設定している大学がたくさんありますので、講座を活用してスコアアップに取り組んでください。(講座受講には別途申込と受講料が必要になります。)なお、2024年度の講座内容詳細は、国際課HPを確認するようにしてください。

留学に関する奨学金

同志社大学では、外国派遣留学促進のための奨学金が用意されています。これらは本学の教育理念のひとつである国際主義を体得した学生を養成すべく、皆さんの外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金ですので、ぜひ活用してください。

▶ サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金は、サマープログラム及びスプリングプログラムに参加した学生に対し、50,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ セメスタープログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

セメスタープログラム履修者に対する奨学金は、セメスタープログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金(給付制・返還不要)

EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金は、EUキャンパスプログラムに参加した学生に対し、200,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】国際センター国際課

▶ 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金(給付制・返還不要)

外国協定大学派遣留学生に対する奨学金は、大学間協定または学部間協定による派遣留学生に対して、派遣留学期間が6ヶ月未満の場合は200,000円、6ヶ月以上の場合は400,000円を支給する奨学金です。

【問い合わせ先】 大学間協定による派遣留学の場合:国際センター国際課 学部間協定による派遣留学の場合:所属学部窓口

語学カウンセリング

語学にまつわる疑問の解決、語学力アップ、目標達成のために、ぜひ利用してください。

グローバル・コミュニケーション学部ならびにグローバル地域文化学部では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語について、留学や検定試験、語学力向上のための学習方法等、語学に関する相談を受け付けています。

希望される方は、今出川・京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて、所定の申込用紙に記入し申請してください。担当教員と面談日時を調整後、詳細を連絡します。

【問い合わせ先】全学共通教養教育センター

【申込場所】今出川校地:今出川キャンパス教務センター 京田辺校地:京田辺キャンパス教務センター



志高館



香柏館

7 Honors Programs 制度紹介

同志社大学から特別な認定書

外国語honors(オナーズ)制度

(外国語科目成績優秀者表彰制度)

外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。認定書授与式では学長から外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品が手渡されます。また、成績証明書にも外国語honors表彰者であることが記載されます。



申請資格・申請方法

<https://www.doshisha.ac.jp/students/honors/index.html>



オナーズ表彰者からのコメント



ドイツ人とドイツ語で
話す楽しさを
実感したことが
認定を目指すきっかけ

ドイツ語認定
稲岡 左和乃 さん

グローバル地域文化学部のヨーロッパコースに入り、第二言語として出会ったことがドイツ語との縁の始まりです。1・2年次の「インテンシヴ」で基礎を集中的に学んだ後、ドイツのチュービンゲン大学に半年間留学した際、ドイツ人とドイツ語で話す楽しさを実感してから勉強にますます身が入るようになり、資格取得を含めてオナーズ認定に向けた取り組みを始めました。チュービンゲン大学で仲良くなった学生たちが留学で来日したのをきっかけに、友人と学内にドイツ同好会を立ち上げて文化交流などのイベントを始めたのも、学習のモチベーションを上げるのに役立ったと思います。

社会人になってもドイツ語とかわれるよう、就職先に航空会社を選びました。今後は仕事を通して、英語だけでは触れることのできない広い世界を見ていきたいですね。

中学生のころから科目の中では英語が一番好きで、高校の修学旅行で行ったシンガポールで現地の大学生と英語でコミュニケーションできたときの喜びが英語を本格的に学ぶきっかけになり、グローバル・コミュニケーション学部に入學しました。オナーズ認定を目指したのは、4年間で培った英語力が大学から公式に認められることに魅力を感じたからです。TOEICで予想以上のハイスコアを得たことも大きかったですね。2年次のときにアメリカのカリフォルニア大学リバーサイド校に留学し、帰国後ほどなくして試験を受けたところ975点というスコアを得たんです。これには自分自身、ビックリしました。

卒業後はアメリカやオーストラリアなどでの事業展開に力を入れているメーカーに就職の予定です。いつか海外を舞台に、オナーズ認定で自信をつけた英語力を発揮したいですね。

4年間がんばった
成果が大学から
認められたことに
大きな喜び

英語認定
北村 晃平 さん



オナーズ認定の
実践的な英語力を
グローバルビジネスの
現場で生かしたい

英語認定
山口 彩花 さん

大学入学前からオナーズ制度のことを知っていて、自分も受賞できたらいいなと思いついて勉強を続けていました。グローバル・コミュニケーション学部では1年次から英語で「話す・聞く・読む・書く」力をトータルに鍛えることができ、「Communicative Performance 1・2」ではプレゼン力を身につけるトレーニングに励みました。また、将来はビジネスの現場で英語を駆使したいと考えていたので3年次で「Business English 1・2」を受講し、この二つの授業にとりわけ意欲的に取り組んだこと、2年次のアメリカ留学が実践的な英語力の向上につながったと思います。

同志社で得た貴重な経験を生かすため、卒業後の進路をグローバルなネットワークを持つ証券会社に決めました。これからもっと英語力を高め、海外の投資家と日本をつなぐ架橋のような存在になりたいですね。

Doshisha "Go Global" Passport

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha "Go Global" Passport」を授与します。

グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証となり、成績証明書に「Doshisha "Go Global" Passport」取得者であることが記載されます。

「Doshisha "Go Global" Passport」授与要件について

本学に2013年度以降に入学した学部生で、次のIまたはIIのいずれかを満たした者に「Doshisha "Go Global" Passport」を授与する。2021年度以前に入学した学部生は、授与要件が異なるため国際課HPを参照すること。

I. 次の①から④のいずれかを満たし、⑤及び⑥の全てを満たした者。

- TOEFL iBT® テスト79点以上(TOEFL iBT® Home Editionテストも可。「Test Dateスコア」のみ可とし、「MyBest™スコア」は認めない)、TOEFL ITP® テスト550点以上、TOEIC® L&Rテスト730点以上、TOEIC® L&R IPテスト730点以上、または別表に定めるこれらと同等の資格・スコアのいずれかを有すること。
- 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- 初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。
- 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。
- 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」のうち2科目の単位を修得すること。

II. グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者。

授与要件 ① を満たす英語の試験及び資格・スコア

試験名	級 / スコア	試験名	級 / スコア
TOEFL iBT® テスト (TOEFL iBT® Home Editionテストも可。)	79~	国連英検	A級以上(該当級:A、特A)
TOEFL ITP® テスト	550~	英検	準1級以上(該当級:準1級、1級)
TOEIC® L&Rテスト	730~	ケンブリッジ英検	First Certificate以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
TOEIC® L&R IPテスト	730~	CASEC	700~
IELTS™	6.0~		

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなす。

※TOEFL iBT®スコアは「Test Dateスコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。 ※TOEIC®テストの「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

授与要件 ③ を満たす初修外国語の試験及び資格・スコア

言語	試験名	級 / スコア
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
フランス語	DELFB	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) (C1、C2は、試験名がDALFとなる)
	TCF 実用フランス語技能検定試験	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) 準1級以上(該当級:準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (GC中国語コースは5級以上) (5、6級については、3パート合計180点以上でクリア)
	中国語検定試験	3級以上(該当級:3級、2級、準1級、1級) (GC中国語コースは2級以上)
	中国語コミュニケーション能力検定	400~1,000点(該当級:レベルD、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級、3級、2級、1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級、1級)
コリア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)
	「ハングル」能力検定試験	準2級以上(該当級:準2級、2級、1級)
	KLAT(IBKLP)	4級以上(該当級:4級、5級、6級) (IBKLPは350~500点)

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはならない。

国際課 Doshisha "Go Global" Passport

https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_passport/goglobal_passport.html



グローバル・リベラルアーツ副専攻

特徴

POINT 1

すべての学部が受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、2016年度以降に入学したすべての学部の受講を希望する学生を対象としています。所属学部・学科の専門科目とは別に、全学共通教養教育科目を定められた要件に沿って履修することで、受講することができます。

POINT 2

授業は英語、少人数で留学生とともに学ぶ対話型授業

同志社大学では、国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。事前学習を徹底し、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と異なる文化や多様な価値観をもつ人々と協働する力を身に付けることができます。

副専攻の英語開講科目には、アーモスト大学をはじめ、ハーバード大学やスタンフォード大学など、アメリカの名門大学からの留学生とともに学ぶ科目もあります。



POINT 3

広い視野と多面的な思考力の養成

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、英語で授業を行う科目に加えて、キリスト教についての理解を深める科目など、全学共通教養教育科目を日本語で幅広く履修します。自分の専攻分野とは異なる様々な学問分野を学ぶことによって、広い視野をもって多面的に物事を思考する力を養います。

POINT 4

外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、原則、外国人教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。

POINT 5

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに

同志社大学には外国協定大学派遣留学生制度があり、37ヶ国(地域)175大学(2023年12月1日現在)に半年間または1年間留学することが可能です。

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講すると効果的です。



POINT 6

修了すれば、証明書が発行されます

副専攻を修了すると証明書が発行されます。卒業年次の定められた期間に副専攻修了申請を行ってください。

修了するためには、副専攻の英語開講科目を8単位以上修得することを含め、定められた要件にしたがい、全学共通教養教育科目を合計20単位以上修得し、TOEFL ITP® テスト550点相当以上のスコアを提出する必要があります。

POINT 7

副専攻英語開講科目は、1科目のみでも受講できます

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、1科目のみでも受講することができます。したがって副専攻の修了を目標にしない場合でも、科目内容への関心に応じ、1科目からチャレンジすることができます。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、副専攻完修希望者に科目受講を保証するものではありません。クラス定員、時間割などの都合により、受講できない場合があります。

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」修了要件について

次の①から⑤のすべてを満たすこと。

- ① 全学共通教養教育科目のうち、「国際教養科目」及び「クリエイティブ・ジャパン科目」の「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」から8単位以上修得すること。
- ② 全学共通教養教育科目のうち、「同志社科目」、「宗教学(1)」、「宗教学(2)」から4単位以上修得すること。
- ③ 全学共通教養教育科目のうち、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」からそれぞれ2単位以上、計6単位以上修得すること。(3分野にわたり単位を修得すること。)
- ④ 全学共通教養教育科目のうち、「キャリア形成支援科目」、「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(下表)」以外の「国際教養科目」と「クリエイティブ・ジャパン科目」、「複合領域科目」、「プロジェクト科目」、「保健体育科目」の中から2単位以上修得すること。
- ⑤ 本学入学以降に受験した以下のいずれかの試験で、定められたスコアを得ていること。
 - TOEFL iBT® テスト、TOEFL iBT® Home Editionテスト 79点以上
 - TOEIC® L&Rテスト、TOEIC® L&R IPテスト 730点以上
 - TOEFL ITP® テスト 550点以上
 - IELTS (IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版(BCD IELTS)、IELTS TOEFL® Essentials™テスト Overall band score 8.5以上
 - オンライン版、IELTS for UKVI) Overall band score 6.0以上

※「宗教学(1)」、「宗教学(2)」は、上記②または③のいずれか一方の単位として算入する。
 ※免許・資格の取得に必要な科目のうち、科目登録時に「M」を付けて登録した科目は、「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。
 ※自由科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。
 ※詳細については「全学共通教養教育科目履修要項」を参照すること。
 ※⑤について、2020年4月以降のTOEFL ITP® テストのスコアは、本学実施のもののみ可。TOEFL iBT® テスト及びTOEFL® Essentials™テストについて、「Test Dateスコア」のみ可。「MyBest™スコア」は認めない。TOEIC® L&R IPテスト(オンライン)のスコアは認められない。
 ※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形である。

▶ グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

	科目名	科目区分	
海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program		
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context		
	Introduction to Japanese Society in the Global Context		
	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context		
応用・発展	Humanities and Global Issues		
	Social Sciences and Global Issues		
	Natural Sciences and Global Issues		
各論・展開	Japan in Modern World History	国際教養科目	
	International Relations in the Postwar Era		
	Issues in Japanese Culture		
	Democracy and Politics : A Comparative Perspective		
	Education in the Age of Globalization		
	Issues in Intercultural Communication		
	Economy and Business in the Global Context 1		
	Economy and Business in the Global Context 2		
	Principles of Economics		
	Environmental Economics and Sustainability		
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1		
	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2		
	The Divisions of Identity in Society		
	Statistics for the Social Sciences and Humanities		
	Introduction to Computer Science and Information Technology		
	Human Science in the Global Age		
	Introduction to Quantitative Data Analysis		
	Conservation of Japanese Nature and Environment		
	Mathematics and its History		
	Science of Natural Disasters		
Advanced Seminar 1			
Advanced Seminar 2			
Advanced Seminar 3			
外国協定大学科目	Japanese Thought and Religion 1	クリエイティブ・ジャパン科目	
	Japanese Thought and Religion 2		
	Tradition and Art in Japan 1		
	Tradition and Art in Japan 2		
	Japan Today 1		
	Japan Today 2		
	スタンフォード大学科目		国際教養科目
	AKP科目		
KCJS科目			



Doshisha University